

日本マスターズ柔道

ホームページ <http://jmja.jp/>

2016年1月31日
JMJA-News 第15号
日本マスターズ柔道協会

〒244-0801
神奈川県横浜市戸塚区品濃町
553-1 N-B02 森本薫方
電話 090-4022-5992
FAX 050-3730-0846
e-mail info@jmja.jp
発行 会長 清家春夫

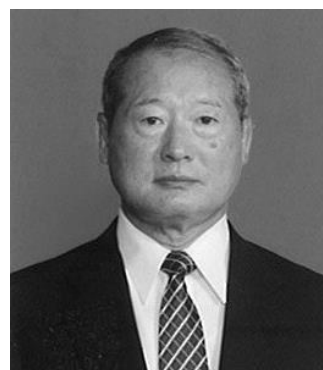
2015年日本ベテランズ柔道大会 第12回日本マスターズ柔道大会 選手宣誓



新年、明けましておめでとう
ございます。
ご家族共々、清々しい気持ち
で平成28年の新春を迎えられた
ことをお慶び申し上げます。本
年も皆様にとりましてより良き、
素晴らしい年になりますようご
祈念申し上げます。
昨年9月、佐賀県嬉野市で開
催された「2015年日本ベテランズ国
際柔道大会(第12回日本マスタ
ーズ柔道大会)」は、地方大会で
最多人員となる約470人が参加

年頭のご挨拶

日本マスターズ柔道協会 会長 清家 春夫



し、成功裡に終了することがで
きました。
これは、関係各位、会員諸兄
のご理解とご支援・ご協力によ
るものであり、皆様方に心より
感謝し厚く御礼を申
上げます。

また、新体制の執行
部が二年目になり、執
行部会を毎月の二金
会の前に開催し、組織
運営に関する企画・立
案、「2015年日本ベテラ
ンズ国際柔道大会(第
12回日本マスターズ柔
道大会)」開催に向け
ての諸準備、記念誌
「日本マスターズ柔道
協会12年の歩み」の発
刊等の諸活動について
検討・審議し、方針を

決定するなど「前進の年」にする
ことができたように思います。

日本マスターズ柔道協会は、
「マスターズ柔道の普及・振興、会
員の心身の健全な発展と会員相
互の友好親善を図るとともに青
少年の健全育成に寄与すること」
を目的に平成14年(2002年)1月
1日設立以来、14年の歴史と伝
統を築いてきましたが、昨年7月、
「日本マスターズ柔道協会12年
の歩み」を編集、発刊することが
できました。

昨年の活動状況と本年の推進
すべき活動計画、課題等について報
告します。

● 平成27年の活動状況

1 執行部会の審議充実と適正な組織運営

一昨年、当協会の組織拡大と
流動的な情勢変化に即応する
ため、最高議決機関を総会から
代表理事会に変更、また、運営
に関する企画・立案等は、会長、
副会長、専務理事、事務局長、
事務局次長、名誉会長等で構成
される執行部会が行うことにな
りました。

それに伴い、執行部会の審議
の充実と積極的な活動を展開
するため、毎月行われる二金会
の稽古の前に、執行部会を開催
し、当面する諸問題について検

討・審議し、方針を決定するな
ど迅速かつ適正な組織運営を図
ることに努めました。

2 全国柔道高段者大会出場と 総会・懇親会の開催

4月28日講道館で開催され
た恒例の全国柔道高段者大会
に多くの
当協会所属の選手が出場し、
熱戦を展開しました。八段の部
に出場した会員は、28人中9人
で32%を占め、生涯柔道を実践
する姿勢が注目されました。

同日午後3時半から神田錦
町の学士会館において総会が開
催され、今年度の事業計画・事
業予算等が代表理事会の決定
として報告、承認されました。

その後、全国各地から参加し
た約60人の会員で懇親会を開
催、全国高段者大会10回・20
回・30回出場を祝い、石川県金
沢市の蔵元から取り寄せた清酒
「黒帯」の菰樽を会長・副会長・
名誉会長・東京都柔道連盟会長
で鏡割りしました。乾杯の後、柔
道談義で懇親を深めながら、日
本舞踊、詩吟、唄等が披露され
親睦と交流を図りました。

3 記念誌「日本マスターズ柔道 協会12年の歩み」の発刊

平成26年8月28日、毛利修

副会長を委員長とする「日本マスターズ柔道協会12年の歩み・記念誌編集委員会」(編集委員・西久保博信、永島健次郎、西谷博一、小池健三)を立ち上げ、第一回委員会を開催し、編集の意図・目的、編集方針、役割分担、制作のプロセス等について打合せを行いました。

委員会の打合せを重ねながら、昨年3月10日野口宏水・清水正敬名誉会長、会長、副会長、専務理事事務局局長等役員による座談会を開催、「12年の歩みとこれからの展望について」など議論を展開し、記念誌に掲載することになりました。

7月、記念誌「日本マスターズ柔道協会12年の歩み」が完成し、発刊することができました。発刊の目的は、会員並びに柔道関係者にマスターズ柔道の目的・歴史・活動状況等について認識を深めていただくためです。

同誌の内容は、巻頭の挨拶・祝辞、座談会、会報寄稿文から(会員91人)、大会等のフォトアルバム、年表、日本マスターズ協会12年の歩み、大会メダリストの掲載等で、124頁の冊子です。

8月から全柔連、講道館等関係団体に寄贈するとともに、会員、大会参加者等に販売を始めています。同誌が、当協会の活動

についてご理解・ご支援をいただくうえで貴重な資料となり、マスターズ柔道の普及・振興に役立つことを願っています。

4 2015年日本ベテランズ国際柔道大会第12回日本マスターズ柔道大会の開催

9月19日(土)、9月20日(日)の2日間、佐賀県嬉野市体育館において標記の大会が開催され、30歳以上の男女470人(内、海外からの参加者25人)の選手により試合(個人、団体)及び形競技が行われ、その技が競われました。

本大会は、一昨年の大会からIJF/全柔連との共同開催になり、地方では、初めての大会となりました。

選手出場に伴う受付業務、プログラムの作成等の事前準備の多くを担当しました。審判員・審査員の手配、競技運営等は、すべて全柔連が担い、計量は9月19日に行いました。また、諸準備、大会当日の運営等で嬉野市役所、嬉野市柔道協会など地元の大ご支援・ご協力がありこれまでの大会以上に日間の競技が円滑に進行し、大会運営は良好で、成功裡に終了することができました。

○ 本大会の特徴、注目点等

① 大会初参加の選手が、165人、全体の35%を占め、新しい参加者が著しく増加した。特に、これまで参加者が少なかった九州・沖縄は、今回124人(福岡県41人、佐賀県23人、長崎県17人、熊本県10人、大分県9人、宮崎県17人、鹿児島県4人、沖縄県3人)が参加、地区別では、最大人員で選手も大活躍し注目された。

② 個人戦に出場した70代は50人、80代は8人で、元気に怪我もなく生涯柔道を実践していただいた。中でも、最高齢の90歳で試合に出場した美濃岡清三郎(兵庫県)の姿に多くの選手が感動した。

③ 古式の形競技に、永島健次郎(77)・石川厚二(76)選手が出場し、立派な形を演技した。両選手は、平素から地道に古式の形の稽古に励み、精進しており、実践する姿が後進に大きな力を与えてくれた。

④ 500人に近い選手が出場した中で、救急車を要請するような受傷事故は1件もなかった。

⑤ 一昨年の大会は、外国人選

手ガ17か国62人出場、昨年の大会は、同時期にスペインで開催された第6回国際ベテランズ柔道大会と重なり、9か国26人と少なかった。本大会はオランダで開催された第7回国際ベテランズ柔道大会と重なり、7か国25人が参加した。今大会は、東京を離れ佐賀県嬉野市という遠隔地の開催にもかかわらず、カナダ、香港、オーストラリア、スウェーデン、スペイン、ニュージーランドから参加し、個人戦、形競技、団体戦に出場した選手と家族に感謝したい。

の攻撃・防衛の禁止」で反則を取られ、反則負けをする試合が少なくなかった。

⑧ 開会式の中で、日本マスターズ柔道協会の表彰として、80歳代の出場者に贈られる「マスターズ功労賞」受賞者9人、「5回出場者表彰」16人、「10回出場者表彰」19人に対し記念品が贈呈された。

⑨ 嬉野市・嬉野市柔道協会が大会運営に全面的な支援・協力をしてくれた。大会の準備段階から積極的に関与し、大会ポスターの掲示、市民参加の呼びかけ、谷口太一郎市長ら多くの市民の応援、選手に参加賞としての湯呑(有田焼)の提供、団体戦の優勝チームに副賞(佐賀牛)の提供等思い出に残る大会になった。

⑩ 沖縄県から初めて3人の選手が参加し、形・個人試合で入賞するなど大活躍した。

⑪ 開催地が「日本三大美肌の湯・嬉野温泉」という魅力ある温泉地であるため、夫人や家族を同伴した選手が多く、柔道大会だけでなく佐賀県・九州各地の観光を楽しんでいた。

⑦ 国際ルールによる「腰から下

○ 当協会主催の懇親会

恒例になった大会初日後の懇親会は、9月19日(土)午後7時から嬉野市内の和多屋別荘において開催、外国人を含む各選手、嬉野市長、全柔連・佐賀県柔道協会・嬉野市柔道協会、当協会の役員、関係者等約140人が参加しました。

懇親会は、嬉野旅館温泉組合のご協力により、芸者さん5人が日本舞踊、民謡等を披露したほか、参加者との記念撮影にも応じ、盛大な懇親会になりました。また、詩吟、唄などが披露されたほか、坂東峰二三が振付けた東京五輪音頭の曲に、柔道審判の諸動作をいれた「日本マスターズ柔道音頭」が初公開され、参加者全員で踊り親睦と交流を深めました。

特に、外国からの選手は、芸者さんとの記念撮影、盆踊りなどに参加し、文化交流を楽しみながら友好親善を図り、大変な盛り上りでした。

5 第7回ベテラン国際柔道大会への参加

9月21日から24日までの間、オランダのアムステルダムで開催されたIJF主催の第7回ベテラン国際柔道大会が、国内の2015日本国際ベテランズ柔道大会(第

12回日本マスターズ柔道大会)と重なったため、当協会は、ツアーを組んでの参加は見送りしました。個人参加として、会員2人が試合に出場しました。

6 ホームページの充実等による広報活動の強化

当協会は、ホームページ上で「メールマガジン」の登録を付け、登録された会員にはマスターズ柔道大会等の案内、参加手続き、会報発行のお知らせなど各種の関連情報を提供しています。

また、ホームページを通じて各行事・諸活動の紹介、会員の募集及び会員の活躍ぶり等を掲載しているほか、Facebookを開設し、ユーザーとの交流を図るなど広報活動を強化しました。

日本マスターズ柔道13年の歴史と各種大会の試合結果、活動状況等を報告する「会報」は、第1号(2005年9月1日発行)から第14号(2015年1月15日発行)までホームページに掲載されていますので、参考にしてください。

7 二金会の活動状況

毎月第二金曜日の午後6時から同7時までの間、講道館の大道場で会員の合同稽古を行い、終了後懇親会を開催しています。

参加者は、毎回約25人〜30人で、乱取、形の稽古等を行い、時には外国から来た人達と合同の稽古で国際交流を図りました。

● 平成28年の活動計画と当面の課題

1 平成28年度の活動計画

① 役員の交代と

若手役員の登用
多年にわたり当協会の組織運営、大会運営等に多大な貢献をしていただいた毛利修副会長、小林潔司事務局長が昨年末に退任し、本年1月1日付で吉成隆杜副会長、森本薫事務局長、原優事務局次長が就任しました。新役員は、若手の人材で今後の活躍が期待される。

② 会報第15号の発行

1月下旬に第16号の会報を発行し、6月18日、6月19日の2日間講道館で開催される「2016年日本ベテランズ国際柔道大会(第13回日本マスターズ柔道大会)」への参加を呼びかける。

③ 記念誌「日本マスターズ柔道協会12年の歩み」の販売

記念誌の販売を促進し、日本マスターズ柔道の普及・振興を図る。

④ 2月に予定される神奈川県土曜会等との合同稽古に参加例年行われている土曜会との合同稽古に参加し、土曜会・横浜税関・丸の内柔道倶楽部・大木塾等関連団体との交流を図る。

⑤ 全日本柔道高段者大会への積極的参加と総会・懇親会の開催
4月28日の全国柔道高段者大会の後、恒例の総会・懇親会を午後5時から神田神保町の学士会館で開催し、親睦と交流を図る。

⑥ 二金会の充実と参加者の増加を図る
昨年から稽古時間を午後5時〜同6時を午後6時〜同7時に変更し、若い世代の参加者が増えているので、さらに増やすための対策を進める。

⑦ 2016年日本ベテランズ国際柔道大会(第13回日本マスターズ柔道大会)の開催準備と大会を通じてマスターズ柔道の普及・振興を図る
6月18日(土)、19日(日)の2日間、講道館において大会が開催されるので、年間の最大行事

として諸準備に万全を期すと同時に多くの皆様に大会参加を呼び掛ける。

⑧ 夏季の柔道研修会(勝浦合宿)の開催
昨年8月、関係団体との勝浦合宿を計画していたが、佐賀嬉野大会等との関連で実施が難しくなり、残念ながら中止した。本年は、大会が6月なので8月1泊2日の勝浦合宿が実施できるように準備し、会員・関連団体との親睦・交流を図りたい。

⑨ 第8回国際ベテランズ柔道大会への参加
大会の日時、開催場所等は未定のところ、日本ベテランズ国際柔道大会を6月にしたことから開催時期が相当期ずれることが予想されるので、本年はツアーを組んで参加したい。

⑩ 全日本柔道形競技大会への出場
昨年は、同大会に多くの会員が出場し、入賞するなど活躍していることから、日本マスターズ柔道大会の形競技参加者が多くなるように働き掛けを行う。

2 当面の課題と対策

高齢化と少子化が進む中、日本の柔道人口と登録人口を増やしていくため、マスターズ柔道の普及・振興が大きな課題だと思えます。マスターズ柔道の愛好者は、二金会の稽古・懇親会、関連団体との合同稽古、各種のマスターズ柔道大会等の参加を通じて徐々に増加しつづけます。

新年の目標として

○ 女子の参加者を増やすための対策

○ 大会の魅力を発信し、広報・啓発活動を強化する

○ 試合・競技の結果、表彰時の写真等をホームページに掲載する

○ 二金会の稽古・懇親会の充実

○ 研修会、関連団体との合同稽古を通じて青少年の健全育成と交流を図る

○ 「日本マスターズ柔道協会12年の歩み」、「会報」等通じて支援者・協賛者の拡大

○ ホームページなどの充実と活用など会員相互の友好親善を図りながら、マスターズ柔道を普及・振興するための諸対策を推進したいと思えます。

今年も柔道着を着て、楽しい汗を流しながら生涯柔道を続け、お元気で活躍されますようご祈念いたします。

2016年 新年のご挨拶

日本マスターズ柔道協会 初代名誉会長 野口宏水

新年明けましておめでとうございます。

皆様にはご家族お揃いで本年も佳き新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。



人は皆誰しもそうですが新しい年を迎えて 旧年を振り返りそれに基き新年の抱負を樹てその抱負に向かって邁進し努力を積み重ねて行くものです。特に昭和10年(1935年)戦前生まれの私は 正月元旦には 朝早く起床 まだ明けやらぬ暗い道を父親に連れられて 後鳥羽神社(後鳥羽上皇が祀られている)の境内に流れる小川の冷水で手を洗い嗽をして 上皇が祀られている奥に向かつて深く二礼二拍手 お参りしそれから新鮮な気持ちでお寺に廻ってお坊さんに新年のご挨拶。日本人たる私達は皆 特に戦前は

先ず神社仏閣にお参りし 家に帰っては家族揃って神棚と仏壇にお参りし そしてお神酒(お屠蘇)を父が先ず頂き それを先ず長兄・次兄・末弟へと廻され そこで一旦父親へ盃は返され 次に父より母へそして姉・妹の順に全員がそれぞれ盃を廻し終わって初めてお雑煮に手をつけ始めたものです。小さい幼児の頃からの正月元旦のトシ取り(戦前は元旦に一歳ずつ齢を取る数え年でありました!)の行事であり 私は子供の頃から正月早々からお神酒に馴染んだからか未だにお酒が離せないのはその故かも知れません・三つ児の魂百まで?)

昨年は私に取って嬉しいことが二つありました。先ず 会員の皆さん 特に編集委員の皆さんのご努力により大変立派な「日本マスターズ柔道協会十二年の歩み」が発刊されたことであります。出来上がった記念誌を見て行きますと最初の座談会に始まって大会試合に参加されたマスターズの体験談感想の全てが 生き生きとしたもので 行間からグイグイと胸に迫

つて来て「感動」の極みでありました。蓋し 当然のことながら 書かれていることがマスターズの生の体験であり 借り物でない「実体験」であるからであります。「自由参加・自主参加 更に自費参加」マスターズの真骨頂が面目躍如 見る人読む人に感動を与えるものがあります。常に畳の上に立ち 今まで体得して来た技を駆使して最大限に力を発揮することに全身全霊を打ち込んで来たことを現在年齢に至るまで、すなわち生涯柔道を貫いている人たちの精根溢れるの記であるからです。編集後記にありますように「会員の皆さんに取って忘れ得ぬ思い出の玉手箱になるような記念誌」になるよう念じてつくられたものであります。更に本誌の表紙に「何歳になつても若いころの千里を駆ける志を持ち続ける」との「老驥伏櫪」(三国魏、武帝、歩出夏門行)は正にマスターズ柔道家の最も似合の四文字熟語として選ばれたとして 一九九三年 第五回世界マスターズ講道館大会開催を前に日本マスターズ柔道協会設立祝賀会をグラントパーク半蔵門にて開催した折 橋本龍太郎元総理大臣 高橋 宏郵船航空元会長と共に最高ご来賓のお1人としてご来臨頂いた今泉正隆元警視總監にこの記念誌をお贈り申し上げた

処「非常に良い言葉ですから今後自分の座右の銘の一として使わせて頂こう」とのお言葉を頂戴したことを茲に編集委員各位に感謝と誇りを以てご報告すると共に更に嬉しいことはこの「老驥伏櫪」に最も相応しい背景を配する水墨画の表紙を 第十二回モントリオール大会に出場された国士舘大学の中島たけしマスターズのご紹介で接触するに至ったという水墨画の大家山田大作先生は これもあろうことか 茲数年に亘り毎年六本木の国立新美術館にて開催される日本総合水墨画展の作家部門に入選受賞している私の九州佐賀脊振小中学校の同級生千々岩清心君(愛知県春日井市在住)が師事して居る(社)日本水墨画美術協会理事長・近代水墨画院会長によるものと云われ更にビックリした次第です。

次に嬉しかったことは 勿論 昨年の私の郷里 佐賀嬉野市での二〇一五年日本ベテランズ国際柔道大会・第二回日本マスターズ柔道大会である。ガンとの闘いで試合にこそ出場出来なかったもののマスターズ諸兄弟が嬉々として参加して戴いたことは大きな喜びで昨年の本欄にも披露させて頂いたように私に取っては「郷里に錦を飾るの感」でした。会場の嬉野市

体育館も素晴らしかったし 全ての面でご協力ご尽力頂いた佐賀県柔道協会(会長 中島祥雄様)並びに嬉野市柔道協会(会長 深村 勉様)は素晴らしい大会にして頂きました。更に佐賀出身の私が今まで近付いたことさえない和多屋別荘での懇親会にては 清家会長の乾杯の音頭は短時間に必ず一分以内に!とのご要望通り 特に団体戦で優勝されたばかり地元佐賀県チームに乾杯の音頭を取れたことは 最高の喜びでありました。一年以上前から諸々の準備のため本部との打ち合わせのため遠路上京され また県市との諸交渉に腐心され この大会の大成功大団円に漕ぎつけられた 佐賀県柔道協会の皆さん 嬉野市柔道協会の皆さん 本当に有難うございました。有難く 厚く御礼を申し上げます。

参加されたマスターズの諸兄弟も マスターズが今まで重ねて来た国の内外を問わず その国地方の持つ歴史 文化 風土 言語 方言...に接し それらの体験を通じて 更に前進して頂いたものと思います。私の郷里に 嬉野茶に 更にマッকারサーがコヨナク愛したという「東長」の銘酒に 必ず

やご満足ご満喫されたものと確信いたしております。ご自分が主役となつて 本大会を大きく盛り上げていただいた皆さんに感謝の

2016 年 新年のご挨拶

日本マスターズ柔道協会

二代目名誉会長 清水 正敬

2016年の新年を迎え新春の喜び申し上げます。昨年協会の行った事業と今年の事業計画等を記してみたいと思います。記念誌「日本マスターズ柔道協会12年の歩み」を昨年8月発刊いたしました。毎年一月お送りしておりますこの会報を纏めたもので、協会発足13年の歴史です。「日本マスターズ柔道大会」は従来国体を開催した県に

お願いし、翌年に試合と形の大会を行って参りました。これまで、中高齢者の出場する大会は、高段者大会の他には余りなく、高段で段位の低い人には試合の機会が殆どありませんでした。このようなことから、高齢で日々乱取り稽古に励んでいる方、形を稽古している方がたから、目指す目標が出来たと、大いに励みになっているとおも

言葉が見つかりません。今年は再び 今や「世界の文化柔道」の発祥地 講道館の畳の上で会いましょう!



います。各開催県柔道協会にとりまして、若い時代に頑張っていた方々が、大会役員・選手として復活されることは、大変喜ばしいこととおもいます。昨年は佐賀県嬉野市で行われました。本来の順番は長崎県でしたが、嬉野市は長崎県との県境にあり、毎夏全柔連が女子強化合宿を行っている、施設・環境等々整っていると、全柔連より推挙されての実施でした。又、同時に5〜6年前より嬉野市

長始め、市関係者が熱心に我々協会に招致活動をして頂きました。宿泊・懇親会場に於いても和多屋別荘で立派な施設と寛げる宿でした。また、佐賀県勢の意気込みは素晴らしく、個人戦ばかりでなく団体戦でも佐賀商高OBチームが優勝、3位嬉野市チームの活躍があり大盛会でした。嬉野市長を始め、市の皆様の温かい歓迎とおもてなしに感謝の気持ち一杯です。一方、IJF(国際柔道連盟)のベテランズ柔道大会はオランダでの開催日(9月21日)が嬉野大会と重複したため、個人エントリを除き、日本マスターズ柔道協会としての海外遠征が行われず残念でした。例年、世界各地で行われる大会は、協会として選手団を組み国際交流、草の根外交を實踐し、柔道の普及・発展に幾分かのお役立ちをして来ましたが、今年度の第13回日本マスターズ柔道大会は講道館に於いて6月18日・19日です。私としては「よしやるぞ、心の気合が減少傾向の昨今ですが、多くのM10以上の先輩方が頑張る姿を見るにつけ、膝だ腰だの傷みもありますが、多少の無理をしても楽しみながらの柔道が続けて行きたいと思っています。2020年東京オリンピック、柔道 は日本の最大のメダル獲得種目としてこれから、中、高、大生達が

注目され、会員の中にはそのメンバの指導者もいると思います。現役バリバリからそして我々中高齢者も柔道で頑張っている姿を、会報を通じてPRしていきたいと思います。今年も皆様にとりまして素晴らしい年になりますよう祈願致します。

近況

副会長 栗本 忠弘

講道館八段栗本忠弘

— 全国高段者大会 31 回出場 —

・第一回日本マスターズ柔道大会

2004 年 12 月 2 日〜4 日

静岡県浜北総合体育館

グリーンアリーナ 優勝

・第二回日本マスターズ柔道大会

2005 年 11 月 25 日〜27 日

埼玉県上尾市埼玉県立武道館

優勝

・IJF 世界マスターズ柔道選手権大会

2006 年 6 月 25 日〜27 日

フランス ツウールス 優勝

・IJF 世界マスターズ柔道選手権大会

2009 年 5 月 26 日〜6 月 1 日

ドイツグラスパラスト

・ジンデルフィンゲン 優勝

・世界マスターズ柔道選手権大会

2010年8月17日～22日

カナダ・モントリオール 優勝

・JF第7回日本マスターズ柔道大会

兼第1回アジアグラッドマスターズ
オープン柔道大会

2010年9月25日～26日

新潟県長岡市 優勝

・JF第6回世界ベテランズ柔道大会

2014年9月24日

スペイン・マラガ 優勝

1. 全国高段者大会30回代表
者表彰受賞
2015年4月28日



講道館上村春樹館長と
栗本忠弘講道館八段

2. 西郷四郎先生の逝去された
尾道に私、栗本と岡山県の川上
勝先生と二人で偶然にもご命日
よりひと月前の11月23日にお
参りました。寺の住職にお願い
し、ご命日にお経をお願いしまし
た。ただし講道館会員一同とし
ました。西郷四郎先生は広島
の尾道市が温暖化で療養に良いと
聞き養生に努めていましたが、大
正11年12月23日57歳で亡く
なりました。



西郷四郎先生の銅像とともに

二金会

専務理事 三橋 英夫



新年明けましておめでとうござ
います。

昨年は、佐賀県嬉野市で第12
回マスターズ柔道大会を成功裡に
開催することができました。これ
もひとえに全柔連はじめ佐賀県
柔道連盟、嬉野市、同柔道協会
等大会関係者の熱いご支援の賜
物であり、改めて深く感謝申し上
げます。

この機会に当協会運営のこと、そ
して二金会のことについてご紹介
します。

当協会の運営は、執行部すなわ
ち、会長、副会長、専務理事、事
務局長、同事務局次長と名誉会
長が協会の事務運営を担っていま
す。原則として、毎月第二金曜日
（「二金会」と呼んでいます）に、1
6時から講道館で「執行部会」を
開催し、協会の事務運営や大会
運営等について検討した後、最高

の議決機関である「代表理事会」
に諮って、協会の事業計画・大会
の申込方法や実施方法等を決め
ています。

会議後の18時からは関東周辺の
会員を集めて合同稽古を行いま
す。講道館の大道場を借り、毎回
約30人が集まっただけの楽しい形や
乱取の稽古。さわやかな汗をかい
た後は、地下のレストラン「じえび
あん」で懇親会。事務局からの報
告が終わると、恒例の参加者全
員の「一分間スピーチ」。会員の近
況、大会への要望・抱負、お国自
慢・孫自慢、中学生の指導方法等
各人の「胸の炎」が楽しく面白く
語られます。しかし、あまり長過
ぎると「指導」、水を差されて最
後に回されるので要注意です。

故郷土産のタコ・モズクや酒の差
し入れ、ビールで潤った喉からは詩
吟・謡曲も出ます。嬉野大会前は、
東京音頭に合わせて踊りの練習
もやりました。最後は、全員で「関
東一本締め」と国際審判規定に
よる「一本」でお開きとなります。
稽古で競い合った仲間もマスター
ズ精神で和気あいあい、生涯柔道
を楽しんでいます。

皆さん、上京する際は、仲間を
誘って、是非、「二金会」に柔道着
持参で顔を出して下さい。誰でも
大歓迎です。

記念誌に接して

感ずること

監事 役田英穂



昨年、「日本マスターズ柔道協会
十二年の歩み」が刊行されまし
た。マスターズ柔道の世界に入っ
てまだ五年、監事を仰せつかつて
僅か二年の私にとりましては、ま
さに歴史教科書のような一冊で
す。協会設立、国内大会開催か
らJF・全柔連関与への転換など、
その歩みは平坦なものではないこ
とがよく解りました。監事という
立場でこの二年間、国内での全て
の活動に参加し、また役員会議
事録の回付や重要事案での会議
同席もさせてもらう中で、協会
運営について次のような点を感じ
取りました。

一、設立から今日まで、歴代会

長はじめ協会首脳部が一貫して運営に関与されており、激動の変換期にも結束して対処された。

二、国内大会は主催から協力になったものの、大会内容は当初のスタイルをほぼ引き継いでおり、二金会での月例稽古、各地区での行事参加など、マスターズ柔道の原点である「生涯柔道」は堅持されている。

三、二金会当日は毎回執行部会や懇親会が開催され、意見交換・集約が行われている。また国内大会・全国高段者大会時には全会員対象の懇親会も開催され、会報の定期発行などと合わせ、全国レベルでの交流・意見聴取もなされている。

設立当初の目的は、柔道愛好家の生涯柔道実践の推奨であったと思いますが、今では全柔連の活動の一翼をも担う存在となっています。会員の多くは各地区の有力指導者でもあり、開かれた協会運営の中で集約・形成された意見や提言は、必ずや日本全体の柔道発展に寄与するものと考えます。協会も設立十四年目を迎えます。会長以外の執行部についても少しずつ世代交代を進めながら、活動の更なる充実が図られることを期待します。

2015 年日本ベテランズ国際柔道大会（第12回日本マスターズ柔道大会）を顧みて

前事務局長 小林潔司



本大会は、平成27年9月19日（土）・20日（日）の両日にわたって佐賀県嬉野市体育館において開催されたが、IJF（国際柔道連盟）の主催、全柔連（全日本柔道連盟）が主管となり、そして当協会が協力団体となつて2013年・2014年（平成25年・平成26年）より連続に講道館で開催された大会に続く初めての地方大会であったが、以下の二つの大きな問題に直面していた。

①平成27年4月1日から導入された、全柔連新登録制度への対応

これは従来の申請書類による登録制度とは大きく異なり、選手

の所属連盟（協会）がインターネットを通じて登録（個人・団体）の申請や追加、抹消等の手続きを行うこととなり、申請者や手続きを担当者の新制度の完全な理解と円滑な運用までには、時間がかかり大会申込者が一時は、数十名が登録不備者であると全柔連より指摘があり、指摘された対象者へは事務局より何度も連絡事務に時間を割くこととなり、大変であったが、早期の事前の新登録制度移行の告知が奏功し、幸いにも一名も登録不備者として大会参加を拒否されることがなく無事に受付を完了することが出来た。

②大会開催時期が観光の繁忙期のシルバーウィークと重複
大会開催日は、9月19日（土）・9月20日（日）の土曜日・日曜日の開催であったがそれに続く21日（月）（敬老の日）、22日（火）（国民の祝日）、23日（水）（秋分の日）となり9月19日（土）～9月23日（水）の実に大型の5連休となった。

開催地の嬉野市は日本三大美肌の湯と云われるほどの温泉地であり、近隣にも伊万里、有田等の焼き物の里、佐世保のハウスデンボス、歴史の街、長崎など有数の観光地が控えており、

この大型連休下での移動の交通機関、宿泊施設等においては手配の困難さと、料金の高止まり等が大いに予想された。全柔連の公式スポンサーの一社である東京の旅行社よりその関連会社である、地元の旅行事情に精通している旅行社（近畿日本ツーリスト佐賀支店）を紹介して頂き、協力を要請し1月末には大会告知の速報版、事前アンケートの配布・回答の回収で参加者の旅行動向を早期に把握し、宿泊施設の確保と極力早期割引料金の適用を依頼し、その結果、参加者には大旨受け入れられたものと理解をしている。

日本列島の西部、九州佐賀県

嬉野市においての観光繁忙期に於いての開催は、移動費・宿泊費と競技参加費を含めるとこれまでの平均的な費用の面から見ると、柔道の個人参加の大会ではかなりの高額な費用である感は否めず、昨年、一昨年の講道館大会の国内参加者数において比較しても、約二百数十名の減員の473名であった。

しかしながら競技運営については全柔連の管理の下、最高レベルの審査員・審判員によつて行われ、男子団体戦では優勝は佐賀商業OBチーム、そして3位には開

催地の嬉野チームが入賞し、会場は地元応援団の熱気と声援で大いに盛り上がった。

併せて開催地の谷口嬉野市長をはじめとする市役所関係職員、嬉野市柔道協会・佐賀県柔道協会のみなさんの多大な支援・協力によつて、円滑、かつ成功裡のうちに終えることが出来た。

懇親会場（和多屋別荘）は、歴史のある旧長崎街道に面し江戸時代には薩摩藩（島津家）の御用宿となったほどの由緒を持つ施設は嬉野市より御紹介を頂き、また市職員による英語通訳、観光温泉嬉野芸能組合の芸者衆の出演等は後援者である嬉野には大変お世話になりました。

そして大会終了後の忘れ物等の処理においても、開催を受け入れて頂いた嬉野市は「おもてなし」の心遣いが貫かれ、この紙面を以て心より感謝と御礼の言葉を申し上げます。



イラスト：森本由紀子さん

「温故知新」

事務局次長

玉田 誠 (兵庫)



この会報が発行される頃、日本マスターズ柔道協会は平成14年(2002年)1月1日の発足以来、14年を数えることになりました。昨年はマスターズ柔道をより一層普及・振興するために、の記念誌「日本マスターズ柔道協会十二年の歩み」が発刊されました。5名の記念誌編集委員の先生方のお力により、日本マスターズ柔道協会の長きにわたる歴史の中から膨大な情報や記録を124ページにまとめられた記念誌は、手に取ればずっしりと重く、充実した内容と資料を網羅し、本当に立派な記念誌であると思います。気の遠くなるような編集作業を、熱い思いで取り組み続けられたことは本当に頭の下が

る思いです。(記念誌は協会ホームページより購入できます。)

一方、協会設立直後から安河内浩先生がホームページを立ち上げられ、協会の案内や活動内容、第一回日本マスターズ柔道大会より告知および結果などの情報をタイムリーに公開しておられたことは、日本マスターズ柔道協会の存在と、年1回開催される大会が、全国の柔道家に広く知れ渡ることになるきっかけになったことは間違いないと思います。私自身は、平成18年の第3回岡山大会に選手として出場したのが最初ですが、ご縁あつて平成22年より安河内先生のお作りになられたホームページを引き継ぎつつ、翌平成23年の第8回千葉大会以降、事務局長に就かれた小林潔司先生ご指導のもと、事務局の手伝いをさせて頂いております。

そういった流れの中で、記念誌を読んでおられますと、歴代会長の野口宏水先生、清水正敬先生、清家春夫先生をはじめ、実に多くの、また様々なジャンルに精通された先生方や各団体のお力によつて協会の設立と運営がなされていることを改めて知ることができます。しっかりと確立されていた協会の中で、第8回の千葉大会以降の5年間、私は非常に

貴重な経験と数多くの勉強をさせて頂いていただきました。

事務局長として重責を負われている小林潔司先生におかれましては、その年度の大会が終わると、すぐに次の大会までを逆算して細やかなタイムテーブルを作成されます。大会運営に係る外部団体・組織との連絡を密にされ、会員からの問い合わせなども目を配り、非常に気を配られるご対応。一番ご多忙な時期には連日、深夜3時4時の送信でメールをお送りいただき、朝8時9時にはその確認とフォローのお電話をいただいたり。「小林先生はいつ寝ておられるのだろうか? 激務すぎるのでは?」と常々心配しておりました。この度5年にわたりご指導いただいた小林先生が事務局長をお辞めになられます。何もわからなかつた私に大変丁寧に優しくご指導いただきましたことは到底一言では言い表せない感謝に堪えません。本当にお疲れ様でした。

2016年 新役員人事	
会長	清家 春夫
副会長	栗本 忠弘 内藤 純 西久保 博信 吉成 隆杜 (新任)
専務理事	三橋 英夫
事務局次長	森本 薫 (新任)
事務局員	玉田 誠 田倉 幸夫 原 優 (新任)
監事	石井 成明 役田 英穂
【会計担当】	

新役員よりのご挨拶

副会長 吉成 隆杜 (東京)



この度日本マスターズ柔道協会副会長に就任することになりました。

13年前に初代野口会長をはじめ有志の方々によって作られたこの会は、年々実績を重ね、今や日本マスターズ柔道大会は日本ベテランズ国際柔道大会となり、主催も国際柔道連盟が行うようになりました。

60歳、70歳代の有志が中心となつてスタートしたプロジェクトが、国際柔道連盟や全日本柔道連盟まで巻き込み、ここまで大きな活動になるとは、さすが日本の柔道家の柔道に対する熱意は並大抵

のものではありません。

私は、一柔道愛好家として第一回大会から参加し、毎年大会に参加することが年中行事として楽しんできましたが、これからは大会の運営側の一員として関わることになります。毎回1000人近くが集う大会ですが、更に参加者が増えるように、そして大会の運営が混乱することなくスムーズに運べるよう、仲間との交流がより深まるよう、できる限りの力を注いでまいります。

事務局長 森本 薫（神奈川）



この度、日本マスターズ柔道協会の事務局長に就任いたしました森本薫と申します。

伝統ある本協会の活動をますます発展させるため微力ながら

きる限りのお手伝いをいたしたいと存じます。

思えば柔道を19歳で初めて45年たちました。その間、ずっと2回/週の稽古は情性で継続してきましたが、特に強くなるでもなく、それどころか最近では体のあちこちで故障がきて、そろそろ柔道もほどほどにして楽隠居するのでもいいかなと思っておった矢先でありました。

しかし事務局を運営するとなるとまず、自ら柔道にもっと染まり、驚くほど元気なベテランの人達と伍してゆかねばならないと思いました。シニアで柔道を続けられている人たちを見るにつけ、柔道にかける情熱のすごさに驚かされます。それだけ柔道は魅力があるのでしょうか。

少子高齢化が叫ばれる世の中で、マスターズ柔道が日本のシニアパワーはすごいのだと見本を示せるようになることを願っております。

また、嘉納治五郎師範が柔道の究極の目標は己を完成し、世を捕益することと言われておりますが、マスターズ柔道に関わる我々は嘉納師範の遺志を継ぎ、若い人、とりわけ子供たちにとって柔道のよきお手本でもありたい

いと思います。

さらに日本マスターズ柔道大会は国際柔道連盟主催、全日本柔道連盟主管でありますので、両連盟と緊密な連携を保ち、できるだけ、外国の人たちにも多く参加していただき、グローバルな大会になることを願っております。そういうことを考えるとまだまだやることはいっぱい、隠居どころではありません。

最近、「日本マスターズ柔道12年の歩み」を購入し、つらつら読んでおりますが、感慨を受けたことは柔道を若い時やっていた、長い間遠ざかっていたても再開した強くなる人の多いことです。若いころで覚えた技は残るんでしょうね。またマスターズ大会を人生の指標として生活設計をされている方もおられるようで、感銘を受けました。

最後に、日本マスターズ柔道大会は本年第13回を迎えますが、第1回大会が開催された時の初心を大先輩諸氏より受け継ぎ、若い人に繋げていきたいと思えます。

事務局次長 原 優（東京）



皆様、新年明けましておめでとうございます。

本年度より事務局次長の職務を担当することになりましたハラマサルと申します。昭和27年3月25日生まれで本年64歳となります。マスターズの世界では若手だそうです。

会社生活も終了し週6回（月、火、木は古式の形、水、金、土は乱取、加えて土の午後は子供スクール講師）の健康柔道の日々をおくっています。

柔道は左組みで若い時に、強引な技の掛け方が原因で右肩脱臼、右足首関節脱臼、右腓骨骨折、右足首靱帯3本断絶等の大怪我をしたことの反省から現在は理合いを重視した技の掛け方を研究しています。

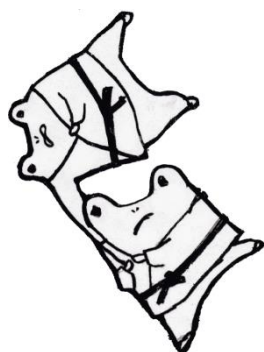
参戦できる試合は全て参戦して

おり全国高段者大会（連続12回出場）及びその他の公式戦及び日本マスターズ柔道大会（連続12回出場）等、です。

私は、マスターズ柔道大会は柔道同窓会と位置付けています。同年代、同体重（私の場合は現在M7、-66kg）の参戦ですが毎年この体重を維持する為に健康にも大きな効果があると思えます。

今日までは大会に参戦することだけに情熱を燃やしていましたが、今後は大会運営にも情熱を注がねばならないことになりました。

久方ぶりの事務業務なので頭の中をブラッシュアップすると共に嘉納師範から受け継いだ「精神力善用と自他共栄」の理念をこの与えられた業務に実践すべく真摯に務める所存ですので宜しくお願い致します。



イラスト：森本由紀子さん

Ⅱ 事務局便り Ⅱ

日本マスターズ柔道協会 平成28年総会及び懇親会への ご案内

本年の総会は毎年4月28日に講道館で開催される全国柔道高段者大会当日の午後5時より講道館より地下鉄2駅の神保町の学士会館で開催されます。(会費:6000円)。総会の後、懇親会もありますので、全国より高段者大会に参加された会員同士のさらに熱い柔道の絆が結ばれます。是非とも奮ってご参加ください。

尚、参加ご希望の方は会報と同封の申込用紙をご利用ください。

申込先:FAX送付先:
050-3730-0846
(日本マスターズ柔道協会事務局)

日時及び会場

4月28日
(全国高段者大会の日)

17時～19時迄

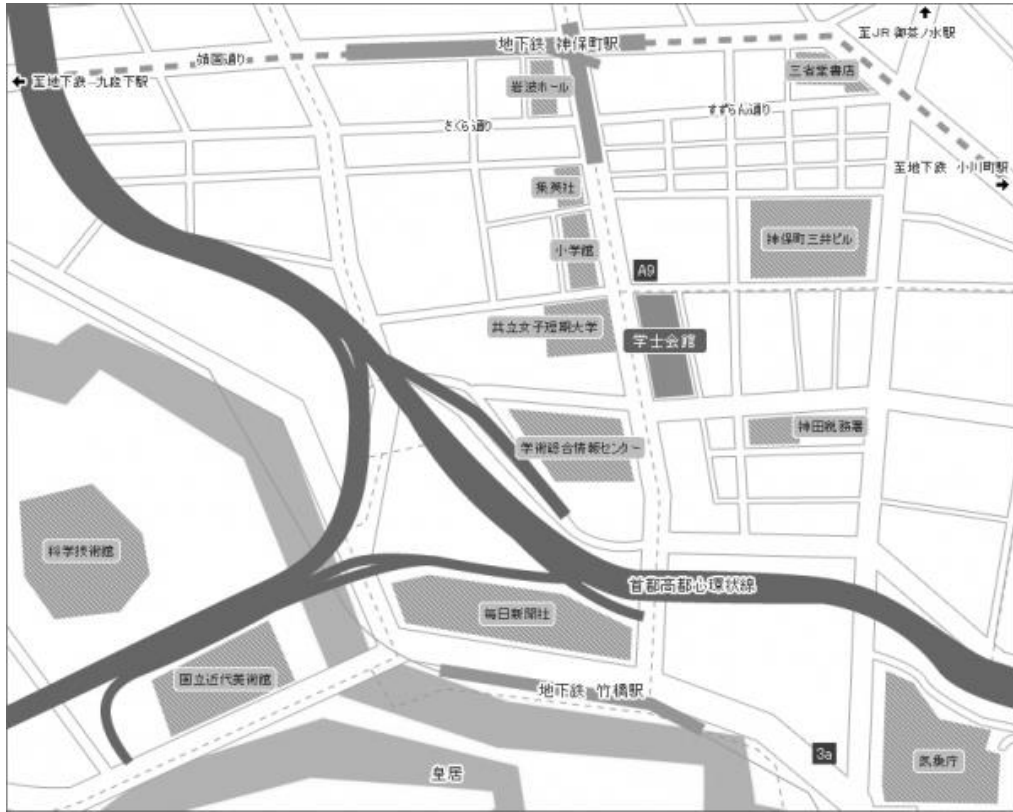
学士会館

東京都千代田区神田錦町

3-28

TEL:03-3292-5936

※講道館からは都営地下鉄「三田線の春日駅」より2駅「神保町駅」下車A9番出口より徒歩1分です。



2015年

日本ベテランズ

国際柔道大会

第12回日本

マスターズ柔道嬉野大会

を願ひて

日本ベテランズ国際柔道大会 を終えて

嬉野市柔道協会会長

深村 勉



二〇一五年日本ベテランズ国際柔道大会の開催に当たり、資金面でご支援いただいた佐賀県様をはじめ、九州柔道協会様、佐賀県柔道協会様他多くの方々のご後援やご支援を頂き無事に大会を終えることが出来ました。本紙面を借りて改めてお礼申し上げます。

振り返りますと、三年前、二〇

一五年大会の開催を、全日本柔道連盟及び日本マスターズ柔道協会へお願いし、多くの方々のお力添えにより、昨年、嬉野市での開催決定を頂きました。いざ嬉野市での決定を頂いたものの、果たして無事開催できるだろうか、不安な面が多々ありましたが、昨年の暮れ、マスターズ協会の野口名誉会長様が嬉野市にお見えになり、大会開催予定の施設や周辺の観光地を見ていただいた際、「大丈夫ですよ。」との言葉をいただいた事で、一安心いたしました。また、その後、全日本柔道連盟の事業部竹村課長様以下十名程で既存施設の下見をして頂き、施設の利用法や運営についてのご指導を頂いたことで、さらに大会に向けての不安がやわらいだ事でした。

さて、実際の大会となり、昨年までの大会と異なり、初日に競技と団体戦が行われましたが私たち嬉野市柔道協会も団体戦に出場し、地元の人々の声援を受け、見事に三位入賞をいたしました。さらに、地元佐賀県の佐賀商業高校OBチームが団体戦で優勝し、手前みそですが、本大会は大いに盛り上がったのではないかと思います。

本大会には、八十代の高齢選手

も出場されていました。高齢選手の戦いぶりを見て、多くの市民の皆さんから「柔道は高齢者でもできるんですね。」と驚きと感激の言葉を頂きました。また、選手の皆様方の紳士な態度に関心された市民の方々が多くいたことを合わせてご報告しておきます。八十代で現役選手として活躍されるのは、日ごろの修練の賜物であると感じました。

本大会を通して、一般市民の方々にも柔道というスポーツに興味をもってもらうきっかけになったのではないかと思います。また、本大会の開催運営を経験したこと、今年は競技スタッフとして参加し選手として出場できなかった嬉野市柔道協会の多くの会員も、来年度以後は是非選手として出場したいと考えてくれているようです。これも選手

の皆さんの本大会での奮闘ぶりに接し、大いに刺激を受けた結果だと思えます。

最後に、嬉野市開催に当たり選手役員の方々のご尽力で本大会が無事に終了出来たことをお礼申し上げます。

日本ベテランズ国際柔道大会を振り返って

嬉野市 市民福祉部

文化・スポーツ振興課 主査

笠原 智徳



昨年、九月十九日、二十日の二日間にわたり、九州の佐賀県嬉野市において開催された二〇一五年日本ベテランズ国際柔道大会に国内外から、多くの柔道愛好家の皆様にご参加をいただきましたことに対し、大変ありがたく、まづもって厚くお礼申し上げます。

振り返ってみますと、私は柔道に関して素人でしたので、日本マスターズ柔道協会、公益財団法人全日本柔道連盟の皆様との初打ち合わせに非常に緊張して臨んだこと、地方である嬉野市の大大会に参加いただけるか大変不安であったことが思い出されます。

このため、参加者の皆様に良い大会であったと感じていただけるように準備したつもりでございましたが、行き届かなかった点が多々あり、大変ご迷惑をおかけしたかと思えます。しかし、参加者の皆様からは、「嬉野の方は優しいですね。」「地方大会も良いですね。」「など、ありがたいお言葉をいただいたことが、非常に嬉しい私の思い出となっています。また、大会等で柔道愛好家の皆様、柔道MIND提唱のとおりの大変紳士的であり、柔道を心から楽しんでいたことが印象に残っています。

皆様方には、この大会をきっかけとして、今後ご家族、ご友人と一緒に日本三大美肌の湯嬉野温泉を訪れていただければ幸いです。

最後になりましたが、大会を開催するにあたり、日本マスターズ柔道協会、公益社団法人全日本柔道連盟の役員の皆様方をはじめとする関係者の皆様に改めて厚くお礼申し上げます、お礼の言葉といたします。

第12回 嬉野大会について

佐賀県柔道協会顧問

八段 光武 則秋



の試合に向けて鋭気を育んでいたようだった。二日目は個人戦。1回戦より素晴らしい技の応酬や熱戦がみられ観客も一つ一つの試合を固唾をを吞んで観戦し柔道の技・試合態度等素晴らしいさを十分に満喫していた。終わってみれば、地元佐賀の選手の成績は、優勝が2名・2位が2名・3位が6名という素晴らしい成績を残してくれました。これも地元開催ということで、選手や関係各位が今まで以上に練習に励んだ結果が実を結び、これ以上の喜びはありません。

このマスターズ柔道大会に参加された選手の皆様方が試合後の感想で、明日から、また来年の大会に向けてトレーニングに励むとの言葉を聴き、私も皆様に習い奮起し、稽古を始めております。選手の皆様の試合態度や礼儀作法、相手を尊重する(勝つて奢らず)姿は観客の人達にすがすがしい印象を与え、マスターズ柔道の真髄を見た感がありました。最後になりましたがこの大会を開催して頂いた関係各位に対し感謝し、今後益々マスターズ柔道大会が盛会になることを祈念いたします。

■嬉野大会に寄せて

■マスターズ柔道について

■その他雑感

マスターズ柔道大会嬉野大会

に参加して

M10 -60 kg 勝呂 孝(埼玉県)

平成27年9月19・20日と佐賀県嬉野市体育館で行われたマスターズ大会に形と個人戦部門で参加した。

まず、嬉野という町へたどり着くの一言、

土地勘がなく連休中と言う事もあつて混雑にうろうろした。

嬉野は市と言うのに鉄道が通っていない。まあ北海道や他県にもそういう町があるが、

前日夕方何とか宿に着く。

同室の井田氏は先着していた。

翌日開会式に続いて形競技、自分分は「極の形」で杉原氏と参加。

結果は5組中の4位であつた。メダルに届かず少しがっかり。

その晩の親睦会は立派なホテルで行われ、カナダ、スエーデンなど外国チームの中で常連

のリック氏率いるNZチームに久しぶりに顔を会わせたトナー氏も加わって楽しい宴会となつた。

清家夫人の音頭での盆踊りは全員の拍手喝さいを浴びた。

20日は個人戦。自分は銀メダルであつた。

終了後、団体戦を見学。

体育館の外ではお茶のサービスが行われており、出入りするたびにお茶の見本品をもらえたのでこれが良いお土産となつた。

また、道路際には足湯温泉があり、ここで若い女性たちとも交流することができた。

彼女たちも町で柔道大会があるのは知っていたが、我々のような午寄りが参加するとは！と驚い



リトルウッドリック氏 トナーパット氏
写真提供：勝呂孝様

ていた。

帰還してから自分たちのビデオを見る。

特に目立った失敗はなく、得点は62.8とまあまあ合格点には達していた。

た・だ・し、若い人達のようなスピードと迫力がない、と言う事、生死を賭けたサムライの作法を演ずるのであるから、これでやむを得ないと納得した。

杉原さんありがとうございました。

また、裏方を務めてくださった関係者の皆様もありがとう存じしました。

次回は講道館で、と聞く。それまでにまた稽古を積んでおこう。

大会の華・団体戦

片桐 清司(滋賀県)

日本一の琵琶湖を有する滋賀の人口は全国の百分の一ですが、マスターズ柔道の団体戦においては第一回からほとんどの大会に出場し、初回の静岡では年齢合

計百八十歳の三人戦を準優勝で飾りました。第五回秋田大会の十人戦ではどのチームも人材に悩む大将の七十歳代をかつてのフランスとベルギー大会の戦友でありチームドクターでもあつた安河内東大名菅教授にお願いしたところ快諾。これぞ柔道を楽しむマスターズ魂の発露なりと感



写真左端 片桐清司選手

謝感激。感動の銀メダルでした。次の大分、長岡、勝浦の三大会では、大将には愛知県に住まわれる元東レ滋賀の奈良七段とベルギーでの戦友諸山七段と組む「滋愛会」で出場。いずれも一回戦突破なるも、強豪の「丸の内C柔錬会、昭徳館」等に阻まれ、入賞には至らぬものの相互の友情が育まれた。会場が講道館となつた平成二五年度からは五人戦となり、近畿区域から二チームを編成。内「近紀会」が激戦の末、三位入賞。私が副将の「チームトライ」も二回戦進出。翌二六年度の講道館ではトトライが三回戦進出。そして、「近紀会」は念願の初優勝に輝き、監督として日本武道館長杯を手に感涙。今年の嬉野大会では、同じメンバーで連続優勝を狙っていくも、準決勝で地元「佐賀商業OB」に阻まれて銅メダル。しかし、三年連続入賞を果たし、監督として感無量！団体戦を戦う楽しみも個人戦を遥かに凌ぎ。チームを組織する監督の仕事は柔道仲間との交流が図れて新人発掘にも繋がります。生涯柔道が広く叫ばれる今日、マスターズ柔道は年々隆盛となり必ずや日本柔道と国家の発展に寄与するものと確信しつつ、来年度のメンバーを集めています。(近畿支部長)

マスターズ柔道と私

五十嵐 徳英（千葉県）



マスターズ柔道大会に出場したのは「第5回 世界マスターズ柔道大会」/2003年、講道館に出場したのが最初であります。当時、丸の内クラブの仲間に入れて頂き数年が過ぎた頃で、クラブの雰囲気からごく自然にエントリートしたように記憶しています。試合に臨み、全力を尽くすつもりではあっても、自分の柔道が世界大会と云うレベルの中でメダルを望めるレベルとは到底考えられず、出たとこ勝負という意識でしたが、運よく決勝まで勝ち進むことが出来ました。決勝の相手は、丸の内クラブの黒沢先生で、先生得意の朽ち木倒しで有効を取られて敗れましたが、M7/73Kg級の銀メダルを獲得することが出来、自分の柔道があと一步で（決勝の試合も有効で敗れましたが、一方的な

試合では無かった）世界大会でも金メダルを望めることが判り、いつかは取るとの意識が芽生え、その後の精進の励みになりました。

日本マスターズ柔道大会には第2回上尾大会から欠かさず出場し、今年の嬉野大会では10回出場の表彰を頂くことが出来ました。その間、全ての出場大会でメダルを獲得していますが、金メダルを獲得したのは1回のみで、金と銀との違いを実感しているところです。その金メダルを獲得した試合にはエピソードがあります。第6回大分大会でのM8無差別の決勝、相手は前日の90Kg級の優勝者で全日本選手権に何回か出場経験のある方で、第5回秋田大会のM8無差別の準決勝で対戦（小生は準決勝に上がるまでの間、その前年度の無差別級の優勝者と前日の81Kg級の優勝者に勝ち上がっていて、今日は金まで勝てそうと思いましたが試合し、有無を言わずの左大内刈りで1本を取られていた方で、とても勝てる相手ではありませんでした。試合は、左の吊り手を持たれたら大内が炸裂するので、それを警戒しながら試合しましたが、相手に前年の迫力なく、何とか時間まで持ちこたえ、旗判定で相手の勝

ちと思いながらの結果は小生の勝ちに上がり金メダルを獲得することが出来ました。まだ、続きがあります。と、言うのは、この試合で相手に迫力が無かったのは決勝に上がる前の準決勝、小生は比較的早い時点で一本勝ちすることが出来体力の消耗が無かったのですが、相手は、同志社OBの山城先生と時間いっぱい死闘を演じ、体力を消耗しきつていたようでした。更に、次の年の第7回新潟大会では、まったく逆に、準決勝で小生が時間いっぱい試合した相手（100Kg超の選手）に、山城先生が決勝で勝ち、恩返しをしたような結果になりました。

トーナメントの組み合わせの恐ろしさやチャンスが到来するという期待と併せ、また出場しようと云う気持ち湧いてきて、稽古に取り組む姿勢も違ってくることを実感しています。

転勤先の東京で柔道再開

佐藤 英則（東京）

アジアマスターズ柔道大会では、一昨年九十歳で他界した父（銀メダル・昨年の第十一回大会では、

九十歳の母（81Kg級での優勝をプレゼント。そして、東日本震災津波で多くの犠牲者が出た「新地町（町会報）で明るい話題を提供する事が出来ました。

マスターズ柔道協会のお蔭と感謝しております。また、柔道再開を今では生涯柔道と心に決めマスターズ柔道を楽しんでおります。

三十数年前、学生時代を過ごした仙台市で就職配属となり、仙台市武道館の稽古や大学時代に親交深かった遠藤先輩（仙台育英OB）の勧めで、仙台育英学園（稽古と指導に行き柔道を継続。たまたま、住まいが育英学園のすぐ近くでしたが、こんな私が役に立つのだろうかと思いましたが、大好きだった遠藤先輩からの勧めは光栄でした。

生徒達とは稽古の空腹を、行きつけの喫茶・スナックで楽しく食事しながら語らい、県大会優勝を目指しました。翌年から連続優勝や東北大会も活躍し、大



学進学後も活躍してくれ、こちらが元気を頂きました。その後、仕事で郡山市へ転勤、学生時代の恩師宮本師範（挨拶「転勤しても柔道は続けるように」とお言葉と日大東北高へ稽古に行くよう紹介を頂き、郡山市柔道会にも所属しながら、総合体育館で子供達の指導も参加させて頂きました。高校県大会優勝・東北大会も活躍してくれ、生徒達との食事は楽しく語りました。両校とも稽古は、厳しく・チーム力の絆が強い学校でした。

郡山市柔道会や日大東北高校の石川先生と過ごした日々は、現在の東京での柔道指導の礎となっております。

数年後、ロッテの仕事で管理職となり単身多き全国転勤、五十歳の頃、東京へ転勤となり二十数年ぶりに柔道を再開。きっかけは息子の授業参観で柔道の団体戦出場の写真を見て、恩師からの「柔道を続ける様に」の言葉を思い出し、近くの体育館で月に一・二回稽古から、次第に柔道の魅力が増し、稽古仲間も回数も増え、講道館稽古・生涯学習委員会稽古やマスターズ二金会稽古は先生方の稽古人数五十名強の中、五十六歳の私は一番の若手でした。

学生時代の競技柔道から柔道

を健康で楽しむ事の大切さを学び。今後も、健康スポーツとして、マスターズ柔道普及・親交を図り、青少年の育成に寄与しながら、「勝つても・負けても」楽しめる柔道を練馬区柔道会員・マスターズ柔道協会、代表理事として引き継いで行きたいと思います。

第12回 嬉野大会を終えて

芦田 和典(大阪府)



今大会では印象的なことが2つもあった。1つは清家会長の開会挨拶である。「60代はまだまだ若手です。」これは名言ではないか。今大会も70代、80代、更には90代になっても一本勝負が展開されている。昨年は105歳のランナーが話題になったが、いつかは「100歳の現役柔道家」の話題で世間を賑やかして貰いたいと願う限りである。もう一つは形競

技における香港勢の大活躍である。5人の女性が3種目(投げの形、固めの形、柔の形)に出場し、全種目入賞という快挙を成し遂げたのである。形は身体が動かせない限り現役選手として活躍が可能であるほか、昨年より今年、今年より来年と、その大会での入賞が叶わなくても点数で努力の成果が確認できる競技である。私は縁あって数年前に香港で形の指導をしたことがあり、その時に出会ったのがこの彼女たちである。彼女らも形の魅力に取りつかれ、講道館の夏期講習に参加したりと、自分達なりに努力を重ね、力を試す為に出場してきたのである。残念ではあるが、海外では国際大会にでも出場しない限り自分達の形の評価を受ける機会は限られており、まさにオープン参加の本大会であるからこそ、このような海外選手にも夢と目標を与えられるのではないだろうか。このようなことから嬉野大会は、マスターズ大会の意義を再認識させて頂いた大会であり忘れぬことのない思い出深い大会となったのである。

旅行を兼ねた嬉野大会

安藤 洋志(埼玉県)



打込み 安藤洋志選手(右)

秋田大会以来8回目出場の日本マスターズ大会、山本健夫さんと「古式の形」に参加しました。初日全ての競技の最初に我々ペアーが出ることになり、成績はともかく気持ち良く演技出来ました。そのお蔭か、翌日の佐賀新聞に写真が掲載され、皆さんの話題にして頂いた次第です。今回の大会では、嬉野市や柔道協会の皆さんに町を上げて歓迎して頂き感謝申し上げます。シーボルトの足湯や、豊玉姫神社のナマズを見学。嬉野橋からの川の風景を見て、十数年前コンビナートのメンバーで訪れた時の事を思い出しました。

尚、今回は二度目の九州での大会という事もあり、家内とレンタカーでドライブしながら観光しました。夜明けの桜島、緑の森に囲まれた朱島の霧島神宮、マイセン磁器に影響を与えた古伊万里を見学。どのホテルや観光地も、多くの中国人と思われる観光客で賑わっていた事。また、田畑の畔の赤いものに混じり、時折見られる黄色の曼珠沙華が印象的でした。

「精力善用」「自他共栄」

伊藤 久雄(千葉県)



物心ついてから「人間という動物は何のために生きるのだろうか?」「人間の存在意義は?」というテーマが心の片隅にあった。年を重ねるにつれて、これが時々頭をもたげてきては、時流にまかせて適当に納得してきた経緯がある。

柔道を始めて、嘉納治五郎の柔道根本原理「精力善用」「自他共栄」の熟語に接してからは、人間存在の全ての範疇を指す、人間としての在り方の根本原理を言いつくしているという思いが、年を重ねると共に強く感じるようになった。私なりに解釈すると、人間は灰になるまで心身共に精進し、世のため、人のため尽くすべし。自分だけでなく、周囲の人々みんなが幸せになり、平和でなければならぬ。世界人類73億の人間が国籍、思想に関係なく「精力善用」「自他共栄」の人間存在の原理を理解し、実践すれば、世界平和も遠からじと思う今日この頃である。

大いなる目標(夢)を心に描く

井上 数夫(神奈川県)



平成26年春、武道場で現会長の

清家さんから「マスターズ 全日本選手権大会に挑戦してみては？」とお誘いを頂き、私とマスターズ大会との出会いがあり、始まりました。当時私の体重は71kg、M8クラス(73kg以下)に出場しました。初めて経験する講道館での試合、他の選手に比べ身長、体格供に見劣りし、それに加え、知人もなく不慣れで気の弱さが出て試合結果は散々、初戦敗退となりました。試合終了後、何の目標も持たず週1回の柔道稽古を続けていました。何処か心の隅に初戦敗退の悔しさが残っていたのか、今年四月、マスターズ第12回大会には一ラック落としM8(66kg以下)にチャレンジしたのです。決意したものの、これから始まる体重5キロ以上の減量は、稽古量に見合った食事摂取量と私生活での飲酒機会が大きな壁となり、どれもが厳しい選択に立たされました。就寝前と起床時の体重測定、自分の描いた減量作戦はなかなか進まず、途中で何度も投げ出しそうになりました。そんな私の気持ちを察した妻が栄養士の知識で食事メニューを工夫してくれ、一進一退だった体重が着実に減っていききました。充分な食事を摂りながら稽古量を増やし、相撲の四股、てつぼう、筋トレ、柔

軟体操等を取り入れ、体力作りに励んでいました。ところが大会一ヶ月前、突然原因不明の腰痛と両足に痺れが発症し、歩くことさえ困難な日々が続きました。

ただひたすら静養に専念し治療するのを待っていました。一週間が過ぎた頃、今迄の傷みが嘘のように無くなっていました。人間本来の治癒能力でしょうか病院にもいかず回復したのです。この時、教えられたのは稽古量と休養のバランス、そして訓練後のストレッチ運動の大切さでした。この教訓があつてか、大会当日はベストの体調で臨むことができ、おかげさまで優勝することができました。私の信条「大いなる目標を心に描き、必ずそれを実現しよう」という夢が叶ったようにも思います。老いても健康に留意し、色々な夢を追い続けて行きたいと思ひます。

うれしの旅行記

一言力(静岡県)

今回の投稿では、2015年日本ベテランズ国際柔道大会(第12回日本マスターズ嬉野市大会)での「うれしの旅行記」とし、12回出

場のなかで今回初めて試合を除き移動、宿泊の予定を決めず東京発・東京帰着を「なんとか成るさ」との思いで自由に行動しました。

最終的には3泊4日と成り、一日目は新幹線のぞみ自由席で博多まで車内割引コーヒー券貰えるまで多くのコーヒーを飲みながら5時間あまり車窓の景色を楽しみました。この日は友達が宿泊している武雄のホテルで一部屋空きが有りなんとか泊ることが出来ました。

2日目は団体戦出場後の個人戦前日軽量後に宿泊探して何とか友達が宿泊しているホテルのフロントの紹介でビジネスホテルを紹介され決定、このビジネスホテルが何とも怪しく内通路の多くの窓ガラスはヒビ割れ私の泊れる部屋の窓もヒビ割れており、避難通路を確認しましたが避難路は通常の内廊下一箇所のみで最悪宿泊部屋脇3階から電柱を伝い避難しようと思ひ又、寝込み襲



われるかもとドキドキしながらもその日は眠りに付きました。まー、朝起きて暫く時間が経つにつれこの土地の風土とどうか、おらかさが出ているのかなとも思われます。因みに、ツイン風呂付食事無し6000円の所1人の為に1500円値引きの4500円で

す。3日目は個人戦終了後この試合出場し-60kg優勝者で友達の小郡の御実家でのこの祝勝会後、他の友達と博多に戻り市内観光と食事後に友達と別れ、4日目は宿泊先無しの為午前0時頃より朝方迄博多駅前のベンチで一入野宿と言うか辺りを散策しました。この時間大体20人前後の人が居り、この人たちは駅構内が朝4時に開くの待って居るようです。この空間は言葉は無いですが境遇が同じと言うか一体感がある様で、人としてホッとする感じです。この日の朝、来る時と同じく新幹線のぞみ自由席で東京までひとつ走り午後、無事東京駅着です。

この4日間の事は簡単に説明させて頂きました。柔道とは直接な事では無いのかなとは思いますが今回私が取ったこの様な行動は冒険心に似た遊び心で有り、だからこそ一生懸命出来るんだと思ひます。この行動が何をして

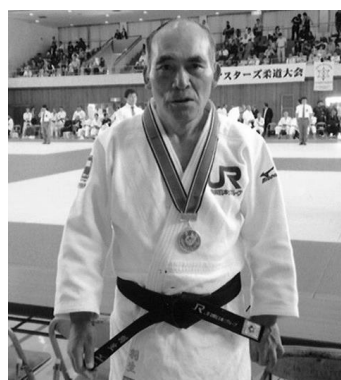
一生懸命かは分かりませんが短い時間ながら心の喜び、動揺、身近な人とのつながりなど私なりに多くの事を与えてくれましたし、柔道の試合が無ければ嬉野に訪れる事も無いのかも知れません。

日本マスターズ柔道協会会報では今回で2回目の投稿をさせて頂き大変嬉しくそれとともに協会に感謝致します。

日本マスターズ柔道大会

との出会い

羽生 利彦(茨城県)



私は、柔道を通していろいろな出会と感動があり、関東高段者柔道大会や全国高段者柔道大会には35回出場し何回か優秀選手賞を頂き、現在もJＲ東日本女子柔道部監督として柔道の修

行と指導をしております。そして2013年に始めて柔道教え子の大木塾の塾長先生から日本マスターズ柔道大会が講道館で実施する為に出場の要請をうけ、団体戦で60歳代の副将で申し込みをしました団体戦は、1回戦・2回戦と勝ち進み準々決勝戦は優勝チームに負けて第5位でありました。その時に個人戦や形の部の競技があるのを知りました。

次の2014年には団体戦の60歳代の副将と個人戦には始めて65歳〜69歳のM8のカテゴリでエントリース初優勝「金メダル」を頂きました。

2015年は第12回日本マスターズ柔道大会が佐賀県嬉野市の体育館で開催され、嬉野市は、全日本女子柔道強化選手の強化合宿を毎年実施されてお世話になっているので出場するのを楽しみに、団体戦と個人戦の65歳〜69歳のM8のカテゴリでエントリース優勝2連覇をすることが出来ました。

大会終了後は懇親会があり、多くの人のふれあいがあり、ますますマスターズ大会に刺激を受け興味を感じる様になりました。この日本マスターズ柔道大会には多くの選手が参加し、また、外

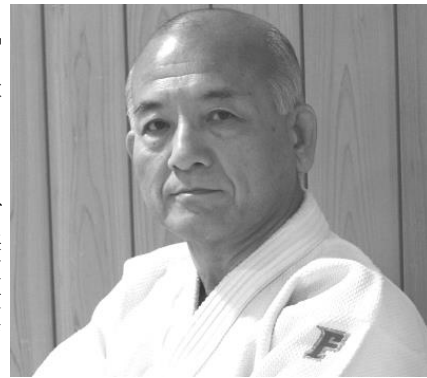
国選手も参加され団体戦や個人戦の試合や形の演武等にも参加され盛大に実施されているので、私も、大きな魅力を感じています。今回は「形の部」でも「古式の形」を演武したいと思っています。八段の昇段審査は「古式の形」が審査対象なので筑波大学小俣先生から指導を受け、また、口伝会の醍醐先生を始め諸先生の指導を受けて八段に昇段したので感謝をしています。

是非今度は、3種目に出場するために試合だけではなく、形の演武にも参加し、生涯柔道を目指とするマスターズ柔道の普及・振興、会員の心身の発展と友好親善を図るとともに、青少年の健全育成に寄与すると言う目的があり、私も、今後身体の続く限り「継続は力なり」日々研鑽を重ねて生涯体育の一つとして現役柔道を目指して自分なりに精進して頑張つて行きたいと思えます。

最後に、日本マスターズ柔道協会の発展に役員や諸先生方のご尽力とご苦労に感謝申し上げます。有難うございました。

日本マスターズ柔道大会について

吉成 隆杜（東京）



「日本マスターズ柔道大会」が過去12回に渡って開催され、今や国際柔道連盟主催の大会になったことは、戦後の日本柔道界において柔道がオリンピック競技になったこと以上にこれほど大きな出来事はありません。学生時代や卒業後実業団で競技に出ることだけが柔道活躍の場ではなく、一生生涯柔道を競技として競い、仲間と共に楽しむことが出来る場を、新たに作った訳ですから、これほど画期的なことはありません。正に偉業です。

日本マスターズ柔道協会を起ち上げ、育て上げた初代野口会長を始め多くの理事や役員の方々には、感謝すると同時に心

より敬意を表します。

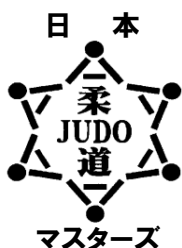
しかし残念ながら柔道家にとつての「日本マスターズ柔道大会」への出場は、未だ全国高段者大会の出場と同じ感覚にはなっておりません。まだ大会の存在さえ知らず、知つていても出場することが全く考慮の外といった柔道家も少なくありません。1日も早く全ての柔道家が「日本マスターズ柔道大会」の存在を認識し、もつと多くの柔道家が大会に出場することが当たり前になるようにしたいものです。そうすることで大会の権威も高まり、いいては柔道人気を高めることに繋がります。

「日本マスターズ柔道大会」のようなイベントは、本来もつと多様な企画があつてしかるべきです。全国津々浦々に広がる各地域での柔道協会が、ボランティアで運営されていることにも起因しますが、ともすれば定例の大会を消化するだけで精一杯で、新規のアイデアが検討されるような土壌が、従来の柔道組織には欠けています。明治15年に講道館が創立されてから134年目で

す。嘉納師範が22歳で始めて日本国内のみならず、世界の津々浦々まで柔道を広げました。

現在国連加盟国は194ヶ国ですが、国際柔道連盟には199ヶ国が加盟しています。世界の数あるスポーツ団体の中で、これ程多くの国の人達が参加しているスポーツ組織はありません。その上毎年シニアボランティアで日本人柔道家が世界各国に指導者として派遣され、継続的にあらたな柔道家を育てています。これほどの希有な伝統を持った組織は他には存在しません。

このような偉大な遺産を、我々は引き継ぎました。この遺産を食い潰すことなく、更に大きく繁栄させることが、我々日本の柔道家に課せられた使命と心得ます。できることは沢山あります。もつと「日本マスターズ柔道大会」を盛んなものにする、こと、楽しいものにする、そして更なるステージに高めましょう。



マスターズ柔道に感謝！

東京都 岡村 忠彦



2015年日本ベテランズ国際柔道大会(第12回日本マスターズ柔道大会)に昨年も出場することができました。

第8回千葉大会からは「1年間の最大目標」と位置づけ、連続出場を続けてまいりました。結果、3年連続での金メダル(M4-66kg級)と、5回出場の表彰をいただくことができ、大変うれしく思っております。

私が本大会を「1年間の最大目標」と位置づけるに至った理由は、自らのために稽古をすることよりも、指導者として柔道にかかわる年齢にさしかかり、言葉での指導が多くなる中、やはり「自ら稽古をつける指導」を実践していきたいと考えたからです。そのためには自分自身も鍛え続けていく必要があり、そのモチベ

ーションとして本大会への出場を自分に課すようになりました。

また本大会への出場は私にとって「1年間の最大の楽しみ」でもあります。本大会には私の大学時代の先輩方が多く出場されており、その先輩方との再会や試合後の酒席を共にさせていただくことを励みにして、現在は稽古に励むと同時に健康維持に努めております。

さらに、試合出場のための減量も、やっている時は辛さもありますが、試合前、体重計に乗り、計量をパスした際の達成感は何物にもかえがたいものがあります。

以上、現在の私の柔道人生にとつて、日本マスターズ柔道大会はなくてはならない大きな存在となっております。このような素晴らしい大会を企画・運営されている協会の先生方に深く感謝申し上げますとともに、本大会の益々の発展を祈念しております。

我が人生と柔道

岡田 庫二郎(兵庫県)



私の生まれは、島根県太田市仁万町宅野村という戸数300件足らずの漁村です。小学校卒業後大阪に出て、商店や町工場に勤め、昭和28年に大阪拘置所に法務事務官看守を拝命し、大阪で十年、神戸刑務所、豊岡拘置支所と、国家公務員として計40年間勤務しました。その間柔道の稽古はかかさず現在も続けております。お陰で八段に昇段しております。又、永年危険業務に従事したことにより、平成17年4月29日、皇居に於いて、瑞寶単光章を授与されました。日本マスターズ柔道協会の会員になって、県外の多くの先生方と知り合い仲良くなったこと、海外国内のマスターズ柔道大会に出場し、

メダルを沢山頂いたこと、市内の友人や知人から、チャンピオン元氣ですか！元氣ですなー！と声を掛けられたりします。「継続は力なり」の額を毎日朝・昼・夕と食事をしながら見つめて、稽古したお陰で嬉野大会、優勝できました。大会後は刑務官のOBの方が試合後市内を案内して下さり楽しい思い出ができました。今後もボケない様に頑張りますのでよろしくお願いします。

第12回 嬉野大会

加古 若子(愛知県)



好天気の中、中部国際空港に9人、ニコニコ今日の天気のように晴れやかに、飛行機にて出発、福岡からレンタカーで嬉野に、まず会場見学、気持ちが高ぶってきました。先ずは体重測定まで不安……。次の日も天気良く、体

重測定もクリア、形種目ともに3位、相手と驚き喜びました。試合は男子の迫力に会場が見やすいのも有り、自分の試合も忘れ応援しましたが、それに較べ女子選手の少ないのに寂しさを覚えました。私の仲間も少なくなりました。第一回大会からは一人になりましたが、形、試合も一年の計画の中にしっかり組み込み来年度の大会に望みたいと思っています。若し人達に支えられているので安心して続けられそうです。嬉野の「うれしの茶」おいしく毎日飲んでます、とても美味しいです。つるつるの温泉とてもいい湯で、大会の後は温泉で癒えました。佐賀県、「何にもないよ！」との触れ込みでしたが、騙されて気持ちよかったです、これからも地方での大会、楽しみにしております。



イラスト：森本由紀子さん

目標に向かって精一杯チャレンジ

加藤 忠勝(東京都)



私は中学一年生から柔道を始め、現在も講道館で生涯スポーツとして日々練習に励んでいます。多くの人に支えられここまで柔道を楽しみ続けてきました。このたび、2015年日本ベテランズ国際柔道大会(第12回日本マスターズ柔道大会)に於いて、個人戦M9(70〜74歳)60kg以下級で優勝することができました。同時に10回出場表彰を頂き、これまでの道のりの長さを痛感しています。今から37年前、私は東京都日野市に転居しました。その際、一緒に持ってきたグレイプフルーツの苗木(種から育てたものです)が、冬の寒さにも耐え今では庭で毎年沢山の实をつけています。持ち主にしか見てもらえないのに



見事に実をつけているのを見る度に、人が見ていなくても何事もモチベーションを持って努力しなければいけないと教えられているような気がします。人間だつて同じです。私もこれを糧に、いついかなる時でも向上する姿勢を忘れず、目標に向かって精一杯チャレンジしていきたいと思います。今回の榮譽に際し、常日頃ご指導頂いております諸先生方並びに関係各位に深く感謝申し上げます。

スウェーデン選手との合同練習

今嶋 禄郎(大阪府)

大阪の今嶋と申します。マスターズに参加して良かったと思っていることの一つに、海外の



選手との交流が出来たことがあります。その中でも一番仲良くさせて頂いているのが、スウェーデンのカールソン選手(M4-90出場)です。



マスターズ開催翌週の9/26(土)、カールソン選手の他、アマラール選手(M4-73銅メダル)、コリック選手(M3-90銅メダル)、カールソン選手の奥様の四名が京都に滞在しているとのことでした。そこで、トライ柔道教室と一緒に練習している船田さん(M4-60銀メダル)と相談し、同教室オーナーの中川さん(2014年M3-81銀メダル)にお願いして、道場を貸して頂き、スウェーデン選手たちとの合同練習をすることになりました。

9/26(土)19:00から、トライ柔道教室にて、練習は始まりました。練習には、船田さん、今嶋はじめとした大人だけでなく、少年教室の生徒たちも参加しました。

練習は準備運動、前転・後転、受け身から始まりました。

そして、最初にいきなりですが、今回の練習のメインテーマです。メインテーマとは？三選手によるそれぞれの得意技の披露です。選手たちは、惜しげもなく披露して下さいました。日本人がやりそうにない技から、オーソドックスな技まで、幅広い内容でした。その都度、大人も子供も、選手たちが披露して下さった技を練習しました。その時も丁寧に教えて下さいました。

そして、寝技、打ち込み、乱取りと通常の練習が続きました。

あんなに力強い柔道をする選手たちが、子供相手の時は投げられてあげるといふ、名選手だからこその優しい一面もありました。

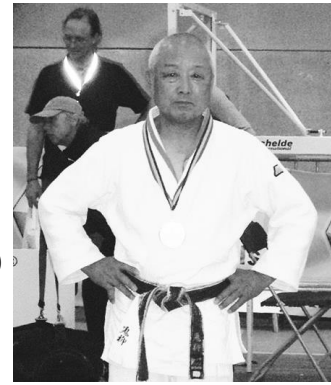
練習が終わったら、近くのレストランで、懇親会代わりの食事をを行いました。練習だけでなく、ゆつくり語り合う機会があつて良かったです。

トライ教室からマスターズに参加しているメンバーは全員外国人との対戦経験があります。しかし、稽古したのは初めてです。貴重な経験となったことは言うまでもありません。「来年この場所でもう一度一緒に練習しましょう。」そう言つて、お別れしました。

今回、スウェーデンの選手たちはもとより、道場の手配・人数集めなど動いて下さった船田さん、今回の練習を受けて下さった中川さん、忙しい中参加して下さいました教室のメンバーの方々に感謝します。そして、そもそものきっかけとなったマスターズ大会があつたことに感謝します。

マスターズ柔道(嬉野大会)

鬼柳 一字 (岩手県)



今年からの階級はM10となり、いよいよ後期高齢者としての参加となる。

今大会も地方を拠点とする中小企業経営者として、従来通り空き時間を利用しての一人練習のみで参加したが、初戦敗退で本年度大会の全てが完了した。

競技である以上は勝たねば無意味である。但し従来の延長線上の練習方法では今年と同じ結果となる事は明らかであろう。

私は37歳の時に今の会社を創業したが、年齢的には身辺整理をして次の世代に引き渡すべき責務がある。

企業形態は製造業だが、我国製造業の急速な海外移行の流れの中で課せられた課題は、海外生産拠点の拡充と縮小する国内拠点の再構築である。

最初は自分の自由意思で立ち上げた会社だが、40年近い歴史を経れば勝手な行動は絶対に許されない事は承知している。

私の来年度の課題は、会社の次世代を支えるメンバーが今後10年の基盤構築を支援する事である。更に高齢化する身体を強化する独自の練習方法を創出する事である。

創業以来24時間・365日稼働を標榜し、自ら先頭に立ち全力疾走して来た人生も、そろそろ年貢の納め時が来たようだ。

マスターズ柔道 嬉野大会

久保 雅昭 (東京都)



嬉野温泉 名前の由来は 神功皇后 西征の折、戦いで傷ついた兵士を温泉に入れたところ兵士の傷が癒え、皇后が『あな、うれしの』と仰ったことが初めとか。

今回の嬉野大会、東京から見れば遠方にも拘らず、473名の参加があったことは同慶に耐えませんが。私は団体戦に於いて、日本マスターズ柔道協会 副会長

西久保 博信 先生が大将を務めるセキユリティ・パワーズに60代 副将として参加。一同チームワーク良く戦い、ベスト8まで進出。上出来と思っております。個人戦のM8 100 kg級では銀メダルを頂戴しました。

嬉野の地はお茶が美味しく、温泉の効能には驚きました。団体戦終了後の懇親会では美しい芸者衆が5人も特別参加。

お手配を頂いた嬉野市長さんには感謝の気持ちで一杯です。マスターズ大会は世界大会も含め、これまでの10数年間に金メダル8個、銀7個、銅3個を獲得。

個人的には勝った負けにはもう拘わりがなくなりました。柔道は強いだけでは意味がなく、段と共にそれに相応しい人間的魅力が必要と考えるようになりま

した。優しく柔らかく、しなやかな柔道と人間性を目指して今後

も精進して行く所存です。東京からは遠かったですが嬉野に行つて良かった、楽しかったです。

皆さんまた来年、講道館で再会しましょう。

「再会」

古川しげみ (鹿児島県)



きて、参加できたことに心から感謝致しました。また、嬉野あげての歓迎には面はゆい思いとやる気を頂く事も出来ました。準決勝は代表戦で勝ちあがり、決勝はどうか2勝し、二連覇することができました。

柔道は相手が居てくれるからこそ成り立つ競技です。あの嬉野会場での声援や参加者の熱気、そして対戦相手の皆様には、感謝と尊敬の気持ちで一杯です。

私は鹿児島県の出水中央高校で生徒に看護と柔道を教えながら逆に多くの事を教えてもらっています。かつての教え子たちに今回の報告をしたところ、「私たちがマスターズに参加するまでは頑張

つていてね。」と言われ苦笑している所です。教え子たちがマスターズに参加した時に、私も柔道着

姿で畳の上にいられるよう、これからも生涯柔道に携わり続けて

いきたいと思っております。

最後に、皆さんとまた再会できることを楽しみにしております。

会場につくとスタッフ皆様の優しい笑顔や挨拶に自然と顔が綻び、昨年対戦した方々ともお会いで

柔道をする理由

高橋 俊哉（青森県）



小生は現在、青森県の弘前大学教育学部に勤務し、日々、学生と柔道修行に明け暮れています。マスターズの諸先輩方に比べれば小僧同然の53歳ですが、さすがに大学生との乱取りは苦戦することが多くなってきました。そのうち全く歯が立たなくなつて、学生から相手にされなくなる日が来るかもしれません、その時まで体力の低下に抵抗し、あわよくば技術の向上を夢見て修行を続けていくつもりです。

小生が今も稽古を続け、マスターズ大会、高段者大会を中心に試合に参加しているのは、お二人の恩師の影響かもしれません。お一人は高校時代の恩師山本典夫先生（現北海道柔道連盟会長）です。小生が高校生であった頃、先生はちょうど今の私の年齢であつたのですが、毎日激しく稽古

を頂戴し、高校3年間一度も投げることができなかったように記憶しております。今、先生と同じ年齢になつて、改めて先生の偉大さを感じつつ、せめてもの恩返しで学生を投げているというわけです。

もうお一人の恩師は太田尚充先生です。太田先生は大学の大先輩であると同時に、弘前大学名誉教授、同柔道部師範として弘前赴任以来、公私に渡りご指導いただく大恩人にして大恩師です。日本マスターズ柔道協会相談役、現在89歳の太田先生の活躍はマスターズ会員諸氏には今更説明の必要はないかと思えます。

守破離とは申しますが、師の背中が未だに遠い小生にとって柔道修行は守守守の道です。なんだか蒸気機関車みたいですが、これからの師の走ったレールを追いかけて行きたいと思つています。

六階級に出場

佐々木政彦（埼玉県）

私より強い人は多勢いる。どうせ出場するのだつたら他の人がや



りそうにないことをやってみようと考えました。第一回の浜松大会での81 kg級から始め、次の大会から順番に73 kg級・66 kg級・66 kg級・90 kg級・66 kg級・90 kg級・90 kg級と六階級に出場し、81 kg級・73 kg級・66 kg級・無差別級は金メダルを取れましたが、100 kg級・90 kg級は銀メダルでした。私は柔道家の中では大変非力で腕力が弱く力負けをしてしまいます。恩師であります大沢慶己十段の教えを守り、体捌きとスピードで対抗できるよう努力していますが、なかなか思うように動けません。自分なりに工夫を重ねていけばもう少し進歩できると努力しています。日本マスターズ柔道大会は高段者大会のように一回戦えば終わりはなく、引き分けもないトーナメント戦で気持ちの入りが全く違い気合が入ります。そして私よりも年配の方々が必死に戦っている姿を見ますと勇気が湧いてきます。人間誰もが年を重ねて枯れて行きます。でも只黙つて枯れて行く訳にはいらない。自分が戦う男だつていうことを忘れたくない。昔戦つた試合の想い出話をするだけではなくて今現在を戦いたい、日本マスターズ柔道大会はそんな思いを強くしてくれます。六階級に出場し、残すは60 kg級と100 kg超級の二階級ですが、いつの日か挑戦してみたいです。毎年気持ちよく参加できるのも、事務局長の小林潔司先生、準備をして頂いてる役員の先生方のお陰と感謝しております。今後も宜しくお願いします。

第12回 嬉野大会について

山田雅弘（宮崎県）



2015年日本ベテランズ国際柔道大会が、2日間の日程を無

事終了したことに對し、まずは関係各位に宮崎県在住の日本マスターズ柔道協会会員の一人として、深く御礼を申し上げます。大分大会に次ぎ2度目の九州大会開催で、如何なることになるかと心配いたしました、嬉野市長のリーダーシップにより素晴らしい大会となりました。国内外の参加者におかれましては、後々に記憶に残る大会であつたと思います。

個々の会員の皆様におかれましては、改善点等があるのではないかと思います。

昨今の海外情勢は、テロの脅威に直面しておりIJF世界大会への参加に際しては、その直前まで、状況判断が難しくなると感じています。この点においても日本ベテランズ国際柔道大会の充実が期待されます。来年は東京での講道館大会と決定のようですが、可能であれば一年または2年おきに、国体開催地翌年に拘らず嬉野市のように手を上げる開催都市表明に期待しております。



宣誓 山田雅弘選手（九州支部長）

高齡者柔道頑張るぞ！

小西 正弘（千葉県）



子供のころから身体を動かすのが好きで、中学の時から野球部に入り高校に入学してからは大好きな柔道部に入学した。高校3年生の時、柔道部が県大会で優勝して全国大会に出場することができた。そして高校生活の終わりに「東京都庁」を受験した結果合格し、葛飾区役所に配置された。ただ自分の職種が公務員としての建築士なので、大学の夜間部に入學して更に建築学を学んだ。しかしながらその後、長年務めた仕事の内容がパソコン等が普及して大きく変わり、元氣な高齡者も多くなり、スポーツの世界も様変わりで、我々が所属しているマスターズ柔道も本年は12回目の大会を迎えました。高齡になっても柔道が好きでまだ続けている会員が多数参加している。マスターズ柔道大会に出

場するため稽古に励んでいますが、左足首を骨折してしまい、今、やっと治癒に向かっている状況である。早く治して柔道で身体を鍛えて行こうと考えています。「高齡者柔道頑張るぞ！」

佐賀大会を終えて

小池 健三（東京都）



小池健三選手（左から2番目）と
ニュージーランド選手

【私の佐賀大会結果】

個人戦 M8 -73kg級

一回戦負け（一本負け） 対

片桐清二先生

団体戦 ニュージーランドチーム

二対三嬉野 一回戦負け

副将小池健三（一本負け）

対ト部秀幸先生

形競技

古式の形 金メダル

（取）清家春夫先生

（受）小池健三

【今年の目標】

個人戦

今大会も一勝も出来ず。

各先生方との自力の差を見せつけられました。

今年こそ、一回戦突破できるように丸の内柔道倶楽部・二金会・東京都生涯学習合同稽古等に積極的に参加します。

団体戦
今大会は、団体戦は不参加予定でしたが、大会当日、ニュージーランドのリトルウッド先生にニュージーランドチームメンバーに入れて頂きました。

一回戦で嬉野チームと対戦、副将までで二勝二敗、副将の私のところで勝負が決まるために責任重大となりました。

私の相手は愛知県のト部秀幸先生。全力で戦いましたが、やはり及ばず。この結果ニュージーランドチームは負けました。

折角ニュージーランドメンバーに入れて頂いたのにリトルウッド先生の期待に応えようと思いましたが達成出来ず申し訳なく思っています。

今年は一昨年の講道館大会に

出場した『本郷柔道倶楽部』のメンバーで再結成し一回戦突破を目指します。

古式の形

（取）清家春夫先生

（受）小池健三

日頃の稽古で清家先生に受身は大きな音を出すようにと指導を受けていました。

大会初日、形競技会「古式の形」の出場順番がきたので、私は「自分から受身をとるな」「清家先生にすべてを任せるんだ」「普段でできないことをするな」と自分に言い聞かせ量に上がりました。

その結果、金メダル

マスターズ大会に十一回出場して初めての金メダルでした。

これは一重に清家先生をはじめ口伝会の醍醐十段・各先生方の指導の賜物と深く感謝申し上げます。

本当にありがとうございます。今年はさらに受身の技術を向上させて参加したいと思っています。

全国のマスターズ会員の皆様、これからも宜しくお願い申し上げます。

百歳を目標に

上島 彬（大分県）



「この歳（91歳）！金より健康が大事！！」頑張らないこと！。頑張るとは、あらゆる困難や障害を乗り越えて、練習計画を完全に遂行し、目標を達成（優勝）すること。私もマスターズ陸上をやっていますが、百歳の人はTシャツパンツで走れば金メダル。あの人の負けない様に頑張る！。やりすぎて「医者」薬入院あの世へ色紙の言葉。＊織田幹雄先生の言葉「強いものは美しい！」一緒に走って倒れた人を助けてあげる精神。＊村社謙平先生の言葉「オリンピックの覇者に天才なし！」1,500m走るのに始めから飛ばしてどこまで続くか練習した人である。

○同食同源→陰陽バランスとは肉等動物性食品をとったら、野菜や海藻の植物性食品をしつかりとること。おしゃべりが最高の

調味料。○男が呆けても最後まで憶えているのが奥さんの顔と声。○女が呆けると最初に忘れるのが亭主の顔と声。○いつでも、どこでもできる、笑顔に勝る化粧なし。○好きな言葉……「いただく、貰う、ただ、拾う。○嫌いな言葉……「あげる、おごる、落とす、割り勘。女房が葬儀屋のチラシを集めるようになったら注意を！。百歳を目標に「いい加減な人生を楽しく」

計報

中村茂晴さん（七段）が、2015年9月24日、腹部大動脈瘤で逝去されました。

第9回世界マスターズ柔道ブラジル・サンパウロ大会、第10回ベルギー・ブリュッセル大会M6-73kg以下級連覇。享年64歳。謹んでご冥福をお祈りいたします。

弔辞 シゲがいたから強くなれた

上木 保夫（千葉県）

茂との出会いは、今から52年前。安房水産高校のプールでした。小学校の水泳大会の練習で、

那古小の私は、ふんどし、北条小の茂は、ツルツルの水色の海水パンツ。大きい声で、生意気でした。平泳ぎの成績は、茂は2位、私は4位だった。小学校時代から手の力、足の蹴りが強かった。中学に入って柔道の試合会場で、茂と又出会いました。中学生の時、私は茂を内股で投げ、2戦2勝でした。高校に入学してから、チャランポランだった中学時代と違い、茂の目の色が変わり、背負い投げの打ち込みに圧倒されました。私も元帥に「高校大学では、内股では通用しない」と言われ、背負い投げをやっていました。しかしなかなか上手くいかず悩んでいました。高2のとき、日本武道館主催の練習会が勝浦小の講堂で



上木保夫さん

故 中村茂晴さん

ありました。岡野功選手を見ました。電気が走りまわりました。私と茂と同じ体格で、大きい選手を投げる岡野選手に憧れました。そしてすぐ岡野式の背負いから背負い大外を出来るようになった。茂。或る日バイクの無免許がバレ、明日から停学という日に、元帥は、私と茂の練習試合をさせ、私は茂の背負い大外で叩きつけられ、一本負けをしました。意気揚々と停学に入る茂。（二人で飲むと良くその話をしていました。）叩きつけられた私は、岡野式トレーニングを取り入れ、那子山階段登りに汗を流しました。角田先生に岡野功選手の8ミリを見せて貰い、いいタイミングで見せて貰ったと感謝しています。憧れの選手のトレーニングを目に焼き付け、今でも同じトレーニングをやっています。選手の欲しがついている情報を提供する。やっぱり名門安房高の柔道部顧問角田迪夫先生。こんなこともありました。高3の関東大会が、日本武道館で開催されました。その年の4月29日、全日本柔道選手権決勝で、岡野さんが前田選手に、背負いからの連絡技の小内刈りで技ありを取り優勝した。その日本武道館で、高校生で試合が出来る喜び。試合は茂の背負いが一回戦から炸裂。準決勝

で明大中野高と対戦。茂の相手は、逃げ、逃げで、試合にならない。切れた茂は、膝蹴りを相手の頭にくらわした。負けたと思った。試合ストップ。審判長がマイクを持つて登場。「今の赤の選手のけりは、即刻警告です。が、白の選手が戦わないので反則負けです。」安房高ベンチから歓声が上がリ、勢いづいた。次鋒65kgの半田が125kgの茂木を背負いで投げ、中堅62kg藪下は、95kgを体落として「技あり」で勝ち、その瞬間安房高の優勝が決まりました。副将の私は、日米対抗に出場した岡崎に、何度も場外で投げられ、抑えられたのを必死で逃げ、ラスト10秒で、右一本背負いが「技あり」で勝つてしまいました。試合後、角田先生が「上木のはフロック」私は意味が解かりませんでした。学校に帰って調べたら「マグレ」だと解かりました。第17回関東大会で通算10回目の優勝が出来たのは、茂の背負い投げのお陰と感謝しています。私達が試合後武道館の外で喜んでる所へ、中西さんが、岡野選手を連れてきて、岡野選手が「いい試合を見せて貰った」と一人一人と握手してくれました。感動した。全日本チャンピオンが見えてくれた。（大学入学後、講道館で岡野さんがいると、必ず稽古をお

願いた）8月の全国大会（インターハイ）も勝ち上がり、準々決勝熊本本の鎮西高校戦、茂の一本勝ち、私は吉永に抑えられ一本負けし、藪下も喜納に負けチームが負けました。8月の全国大会が終われば、受験体制に入り稽古も時々出るのが進学校安房高の伝統でした。が、各地区の優勝校が招待され、12月25日に全国選抜大会が開かれました。1969年沖縄がアメリカの時代。パスポートを創つて飛行機で沖縄へ。私は、茂の背負い大外をヒントに、右一本背負いからの右一本背負い大外が10月半ばに完成し、時々茂を投げる事が出来るようになり、右一本背負いと右一本背負い大外の開眼となりました。沖縄大会では、南筑高（福岡県）と対戦。茂は、不調。私は自信満々で蔵本（後に、モントリオール71kg級銀メダル）と対戦、引き分けながら、手応えを感じた。1-1の引き分け代表戦。茂不調の為、私が代表戦に。インターハイ重量級優勝の原吉実と対戦。受けには自信があつたので、勝てなくても、負けない。場外際押して原「場外注意」これで勝ったと思った瞬間、主審に向かって「こいつが押したやんけ」。さすがチャンピオン、審判に文句を言った。すぐに主審は、私に「場外注

意」。冷静さを失い攻めようと、前に出たところ原の背負い投げに空を舞い一本負け。万事休す。(飯島が、原を寝技に誘ったが、原嫌ひ引き分けとなる。)中村茂晴の天性のスピードと力。柔らかな横入りの背負い投げの半田。千葉県全国予選を決めた藪下の左一本背負い。安房高の同級生が教科書だった。同じ学年に居たことが私を作ってくれた。ライバルが、いたからこそ今の自分がある。感謝、感謝。

茂は日体大へ、私は東京教育大へ。大学3年の時、茂は、世界学生選手権に出場した。吉村和郎(インターハイ71kg級の優勝者)に勝った実績を買われた。(吉村和郎は後に古賀、吉田のオリンピックチャンピオンを育てた)見送りに200人きたが、出迎えは数人。3位入賞しても、現実の厳しさを知った茂。大学4年間を終え、日体大に残って世界を目指せと、直々に清水学長からの誘いを断り、家の家業を継いだ。私は、桐蔭学園(全国優勝する為に、監督としてスカウトされ奉職での7年間、生徒と同じ稽古、トレーニングをやった。強くなる指導で、自分自身が強くなった。(指導中、殴る蹴る、今ならクビ。先生が先頭に立って稽古をやっている。卒業生が無言のムチだったと言っていた)7年間で2回休んだ。その1回が、館山の筑波大合宿所を使つての安房高合宿。彼女に振られた私を、茂が慰めてくれた。翌日の朝トレは茂が、見てくれることになっていた。ゆっくり寝た。翌朝庭から「礼」の声で、目を覚ました。下のベッドで茂はイビキをかいていた。「全国教員大会優勝」「長野国体優勝(全日本優勝者山下が大将で出場)」「講道館盃3位」になり国際B強化選手になり充実していた。次の年も講道館盃ベスト8に入るが、年で外れる。その年元帥が「1年早く辞めるから安房高に帰って来い。教育委員会、校長に話をつけるから帰って来い」そして、採用試験を受けた。

30歳「一から出直し」が始まる。安房高の柔道部顧問になり、すこし経ってから茂と稽古した。7年間の修業を茂にぶつけました。私の右大外刈りで茂が頭を打ちました。「この時、茂が再び目を覚ました」自分に出来ることを考えた茂は、道場を作り、玉栄館を始め、子供に柔道を教え始める。そして地域の5段以上を集め、バスをチャーターして講道館に乗りつけ、全国高段者大会に茂がリーダーとして毎年のように出場した。中村茂晴七段となる。安房高に戻り10年、平成2年やつと全国大会出場に漕ぎつけました。試合には、茂のパジェロで会場に駆けつけました。茂が来れば、安房高が優勝するような気がしていました。茂の協力のお陰で優勝できた。有難う。平成2年後半から、茂が館山運動公園でトレーニングしていると聞き、私も館山運動公園に通って汗を流しています。今も今年で25年間も通っています。

「継続は力なり」2003年の東京での世界マスターズ柔道大会に茂と出場。茂もなかなか世界では勝てなかったが減量し、73kg級で出場したブラジル、ベルギー大会と2連覇に満足したか、この2、3年出場しなくなつた。私は銅、銀メダルしか取っていないので、金メダルを取って、茂に俺も世界チャンピオンになったと報告しようと思っていたのに、なんでこんなに早く逝ってしまうのか。

“茂のバカヤロー、
そしてありがとう”

注：元帥
昭和26年、昭和56年3月まで県立安房高校柔道部師範を務められた 粕谷栄宏氏

日本マスターズ大会と私

森田 賢一 (静岡県)



古を積み、少なくとも相手に対して失礼の無い状態で試合に臨もう。そう感じたことがこの大会でした。再び柔道の稽古を続けることになったのもこの大会があったからです。

あれから12年この大会に10回出場させていただきました。本年度長崎県嬉野での大会では10回出場の表彰をされることとなりました。継続しこの大会が続いていることに主催者、関係の皆様感謝させていただくとともに、日頃稽古につきあっていたという皆様、何も言わず送り出していたにいてる家族に感謝するばかりです。

多忙な日々は練習時間をつくることもなかなか容易なことではありませんが1年に1度のこの大会を目指し日々これからも精進してゆきたいと思っております。



イラスト：森本由紀子さん

日本マスターズ柔道大会万歳

杉原 尚（茨城県）



※写真一番右が筆者

今回佐賀県嬉野市に於ける2015日本ベテランズ国際柔道大会（第12回日本マスターズ柔道大会）は嬉野市長をはじめ多くの市民の大歓迎を受け大成功であったと思います。懇親会に於いても市長をはじめ多くの来賓のご出席を頂き、更に綺麗どころの踊りなどもあり、外国人の皆さん方には、オオウケだったように思います。私も隠し芸を披露させて頂きました。時は9月19日の

夜、第20回国勢調査の直前であり大正9年10月第1回の国勢調査のキャッチフレーズになった「都々逸」“主はわがまま、私は気まま、国勢調査は、ありのまま”この都々逸の文言に節をつけて約150名の大宴会場で披露致しました。万雷の拍手を受け意を強くした。都々逸は本来四畳半の芸、私の芸も捨てたものではないと思った。本来の柔道競技の成績は、個人試合の部（M10 -60kg）形の部（固の形・極の形）に出場、いずれも、もう一歩という所であった。稽古の成果は総て発揮したので悔いはない。大会2日目の午後から仲間4人でレンタカーで観光旅行に出ました。嬉野温泉に2泊した後、霧島温泉に1泊、屋久島に2泊、指宿温泉に1泊、計6泊7日の小旅行となりました。コースの最期は鹿児島空港へ出て9月24日（木）の夕刻無事羽田空港につきました。帰宅後暫くして、形演技の対戦相手香川県組みの三位入賞溝渕充先生から、極の形出場者全員の形演技のDVDと讃岐うどんが送られてきました。早速お礼状を書き御礼を申し上げました。私はその後DVDを何回も見て、演技の評感想などを便箋9枚にまとめ、資料を添えて送付いたしました。このような選手仲間の交流

を含めて、私は今回のマスターズ柔道大会で正に「人生の金メダル」を貰ったものと内心思っている。人生後半の記念すべき素晴らしい大会であったと思います。本柔道大会でお世話になった先生方、小旅行でお世話になって先生方に紙面をお借りして厚く御礼を申し上げます。「感謝！」「日本マスターズ柔道万歳」

柔道の醍醐味

西尾 真治（埼玉県）



今年のマスターズ大会は、私にとって五回目の出場となった。約十八年のブランクを置いて、三十六歳から第二の柔道人生が始まった私にとって、毎年のマスターズ大会は、欠くことのできないマイルストーンになっている。今年は、名前からして力強い「セキユリティ・パワーズ」の次鋒に入っていた。大先輩の方々と一

緒にチームを組ませていただき、いろいろなお話をお聞きできるのは得難い経験である。試合前に円陣を組んで、手を重ねて気合を入れた。一体感と高揚感が混ざり合い、学生時代の心地よい緊張感が蘇ってくる。

初戦は、開会式後の第一試合で、多くのギラリが見つめる中、あつという間の三連続一本勝ちでチームの勝ちが確定した。第二戦は、昨年度準優勝の強豪チーム。リーダーの西久保先生から、「初戦のことは忘れて、自分の試合をすればいいぞ」と声を掛けていただき、心を落ち着かせることができた。準々決勝となる第三戦では、大声援を背にした地元チームと対戦し、大接戦の末二対二の内容差で敗れ、惜しくもメダルを逃す結果となった。しかし、チームとしては力を出し切った感があり、充実した笑顔と握手でお互いを讃え合った。

もちろん、楽しむこと、ケガをしないことに留意して、無理をせず続けることも、生涯スポーツとして大事なことであろう。しかし、年に1回くらいは、勝負にこだわって、チーム一丸となつて一つでも勝ち上がることを本気で目指すことがあつてもよいのではないか。本気になるほど勝ちの喜びも負けの悔しさも倍加し、それをチ

ームで分け合い、酒の肴にして来年の大会に備える。それが第二の柔道人生に彩りを添え、充実感をもたしてくる気がしている。

すばらしいチームで戦えたことに改めて感謝するとともに、このような場を提供してくれるマスターズ大会にも感謝したい。来年もよろしくお願いいたします。

日本マスターズ嬉野大会

個人戦で初優勝

石邑 勇（千葉県）



2015日本ベテランズ国際柔道大会、（第12回日本マスターズ柔道大会）個人戦 M7・81kg級で初優勝

夢心地とは、まさにこの事を言うのでしょうか？
今年の日本マスターズ大会、個人

戦、M7・-81 Kg級、優勝が決まっ
て暫くの間、何が何だか信じら
れなくて何度も頬を抓りまし
た。

この階級の選手と言ったら、全日
本選手権大会に出場した卜部
七段(愛知県)、阿古六段(奈良
県)、私と同じ千葉県の上木八
段などの強豪揃いで、私などは、
単なる参加選手の一員で、「勝つ
事よりも参加する事に意義あり」
のオリンピック精神で本大会に臨
みました。

日本マスターズ大会は、今から1
年前の2004年12月、静岡
県浜北市で行なわれた第1回大
会から参加、形競技(極の形)で
4組中第4位、個人戦M5・-73 Kg
級で3位に入賞しました。

第2回大会は肩の怪我で出場
を断念しました。

その後、第3回岡山大会から今
年の佐賀県嬉野大会まで10年
連続出場、今年10回出場の表
彰状と盾を戴きました。

今年の大会は形競技(講道館護
身術)と個人戦に出場、初日、9
月19に行なわれた形競技では、
参加5組中、第5位の成績でし
た。

形の女房役(受け)の三田四段
(千葉県)と二人、「来年は必ず
形競技でメダルを採る」と固く
心に誓い、その夜の懇親会に臨

みました。マスターズ協会・会長
清家先生の奥様振り付けによる
「東京五輪音頭」で踊り、しばし
天国をさ迷いました。私は常日
頃から「日本マスターズ酒豪の部」
では、「金メダル間違いなし」と自
負しています。

次の日。無心で望んだ個人戦、
M7・-81 Kg級の参加者は12人。
1回戦がシードにより2回戦か
ら出場しました。60歳〜69歳
の試合時間は2分30秒です。試
合の相手は地元(佐賀県)の進藤
五段でした。

腕力とスタミナでは自身のある
私は2分30秒間技を掛ける事
に徹しました。残り時間30秒、
得意の「支え釣込足」から「横四
方固」で一本勝ち。3回戦(準決
勝)は熊本県の永田五段と対戦。
「指導2つ」で勝ち上がり決勝戦
は阿古六段(奈良県)と。試合開

始から30秒、私は、阿古六段の
「右小内刈」を受けお尻から畳に
落ちました。しかし、私は投げら
れながらも無意識のうちに体を
右に捻っていたようで、気が着い
たら、阿古六段が私の体の下に
なっていました。私はその儘「横四
方固」で20秒間押さえ込みまし
た。

応援に駆けつけてくれた千葉県
の仲間達からも、「嘘だろう、信
じられない」とお褒めの言葉を戴

きました。家内にスマホをしたと
ころ、「わたしはあなたの言うこ
とが信じられません」というよう
なメッセージが帰ってきました。
9月のマスターズ大会が終わって
早いもので、もう3ヶ月経ちまし
た。来年の目標は個人戦で二連
覇。日々の目標は、酒の量を減
らし稽古の量を増やす事。しか
し、アルコールの誘惑に弱い私。ク
リスマスも近いせいもあってか、我
が家では毎晩のように祝宴が続
いています。

第12回・嬉野大会について

川野 英二(愛媛県)



日本マスターズ柔道協会の皆様
におかれましては益々ご清祥の
ことと存じます。私は、自身が
35歳になる第十回大会から出
場を始め、第12回・嬉野大会は
3回目のマスターズ大会でした。
普段は、毎朝5時からランニン

グと週3回町道場で幼児から中
学生の指導をし、大会前には高
校・大学・県警と出稽古させて
貰って大会に挑んでいます。この
マスターズ大会はただ単に、勝ち
負けの争いだけではなく、参加さ
れるすべての方々と交流が出来、
親睦を深めることが出来る素晴
らしい大会だと思います。また今
回は嬉野での開催ということも
あり試合のほかに観光ができ
沢山の思い出もできました。これ
からも怪我には気をつけ、「継続
は力なり!」の気持ち忘れず
に次回の第13回・日本マスターズ
柔道大会にも是非参加しようと
思います。最後になりましたが
日本マスターズ柔道協会の益々
の発展と会員皆様のご健康とご
活躍をお祈りいたします。

奮闘・田舎柔道マスターズへ参戦

村上 和男(宮崎県)

私が、柔道に出会ったのは中学1
年生の夏でした。
小学校で野球をやっていましたが、
中学校入学時に生徒減の理由
により野球部が無くなり仕方な
く柔道部へ、当時の体重といえ
ば45キロ程度、毎日の投込み相手
で3年間苦痛の日々であった。

高校進学後は文化部、しかしあ
る先輩に強引に柔道部へ、やる
以上はどんな重量級でも倒すと
決め「柔よく剛を制すの精神」で
練習に打ち込みました。

何の実績もない私が、柔道場の
館長になり45年余りの現役選
手に! 歳を取る度に体力の低
下! このまま終わるのでは悔いが
残ると思い、当たって砕けろで第
4回マスターズ・兵庫大会へ出場
させて

いただきました。

大会会場での衝撃は物凄いの
があり、出場選手80才以上
の先生方が数人おられ自分なん
かまだまだ子供だと痛感させら
れました、それ以降嬉野大会で
8回出場していますが、3階級で
3位が最高の成績ですが、必ず
優勝し自分を慰めてやりたいと
思っています。



※前列中央 村上

嬉野大会には、自分の道場の教え子達と一緒に男子団体・個人及び女子団体・個人戦に9人出場し田舎柔道をたっぷり楽しんだ大会でありました(宮崎の山田先生、茅ヶ崎の内藤・神尾先生感謝)。

次回開催地は、柔道の聖地講道館とのこと、ある先生から言われた感動の言葉に「試合に負けた相手より長く柔道着を着ている者が最後は勝ちですよ」を胸に、更に柔道仲間を増やし生涯スポーツとして気力・体力・健康増進に努め、現役選手100歳を目指しますので、大会役員関係者の皆様方、今後とも宜しくお願いします。

四婆の会

大宮 民子(愛知県)

昔々、講道館夏期講習会女子部を経て第一部を受講していた女性柔道愛好者が、仲間となりお互いの道場へ出稽古に行くようになりました。それぞれ家庭と仕事、子育てで追われ、道場と、主人の協力の下、それはそれはバワフルに日々を謳歌している強者でした。その仲間は四十

代後半で婆さんへと……「四婆の会」と名づけました。福井県(横山先生)、愛知県(加古先生・私、大宮)、岐阜県黒田先生(在住の四人、気が合い定期的に各県の所属道場を借りての稽古は子連れの参加でもあり、各道場の師範には温かく迎え入れて頂いたものです。道場の師範は、柔道、人生、様々な分野と経験を教えて下さり、私達四婆は見聞を深め幸せな活動をさせて頂き、その名も「どさまわり」と呼んでいました。第五回世界マスターズ柔道大会が2003年講道館で開催され四婆の会は「形の部」で参加しました。その後、2005年第一回日本マスターズ柔道大会静岡大会に大喜びで参加させて頂きました。「形の部」「試合の部」「団体



左から
今立(秋田) 大宮(愛知) 加古(愛知)
黒田(岐阜) 横山(福井)

戦」と各々参加させて頂きました。「形の部」での故真砂先生、佐藤先生による「古式の形」は今も仲間内で語り継がれる印象深い演技でした。団体戦女子の部は四チームが参加、なんとオリンピック金メダリストを中心に世界大会、全日本大会で活躍した女性が生が三十代となり乳児、幼児連れての参加で三チーム。そして我々第一回女子全日本柔道大会出場者を加えての五十代チーム。三名構成での試合でした。リング戦で流石、世界、全日本で活躍したきた選手だけあって我々五十代チームを巻き込むことなく綺麗なタイミングで技を掛けてくれました。しかしながら我々先輩チームは柔道歴長い！反応して技ありに……、続いて抑え込まれ、我々五十代チームは下でバタバタ、もがき、「合わせて一本！」実に愉快な試合でした。大会を重ね、昔の先輩、仲間と再会も、石川県(長崎先生)秋田県(今立先生)長野県(大森先生)等々、各大会で合流しお相手としての活動が始まり、「どさまわり」稽古が日常となりました。2006年フランス大会は女性の部六名の仲間に参加させて頂きました。野口会長はじめ各県の男性の先生方は、ご夫婦での参加で大会後のフランス縦断の旅は

西欧文化を探索、笑いと学びとフランス在住の柔道家との交流、南フランスでの日本的大宴会は大きな思い出となりました。2010年の冬、日本マスターズ柔道協会関東地区の諸先生方が愛知県瀬戸市の瀬戸柔道会(瀬戸市武道館へバスで来訪され、子供たちに柔道家の修業の奥深さを見せつけて下さいました。受身、寝技、打ち込み、乱取り、形、子供達は「僕のお爺ちゃんよりお爺ちゃんなのに凄い！」と目を輝かせていたものでした。出会いがあり、思い出があり、柔道の人生を走り続けてきましたが、マスターズ柔道の先生方をはじめ、仲間との永遠の辛い別れもありました。元祖「四婆の会」の黒田美千子さんが2014年に旅立ち帰らぬ人となりました。若かりし頃の仲間は現在六十代後半となりましたが、生涯柔道と声を掛け合いながら交流を続けています。これからも女性柔道家は日本マスターズ柔道大会の参加楽しみに日々稽古に励んでいます。大会を運営される先生方には感謝と敬意を称し今後の発展をお祈りします。

追伸 写真やと探し当てました。定年後も仕事を持っておりますので、時間に限りがあり昨

夜半見つけました。「四婆といえども五婆での活動が六婆となり七婆になり、予備群含めマスターズ柔道に参加してくれております。」

山口大会の思い出

大窪 龍史郎(埼玉県)



私が、はじめて試合にでたのは、4年前の山口大会でした。故郷の山口で行われましたし、同時に中学の同窓会もあり、長い柔道人生の思い出づくりに一回出てみようかと思つたからです。しかし、「そんな大会にでも、とてもじゃないけど……」という不安もありましたが、負けても誰にも迷惑をかけるわけでもないの、と勇断したのでした。そして、好きな釣りもやろうと、自分の経済車(軽乗)に、釣り道具と柔

道着、寝袋等を積み込み、自宅から約1000キロ強離れた郷里の宇部に戻ったのです。そして、子供のころ遊んだ川で、魚釣りをしたり、同窓会に出たりして、故郷を離れる最後の日に、周南市で開催されたマスターズの試合に参加しました。会場では、みんな強そうに見え、「1回でも勝てたらいいなあ」という強い思いをこめて、1回戦に、のぞみました。相手が何をかけてくるのか、ビックビック、サキサキ（先にかける）の気持ちで、必死でたたかっていたら、なんと勝つてしまいました。「これでもいい思い出ができた、もうあとは、どうでも・・・」とホツトし、気楽になりました。そして2回戦、相手は、貫禄のあるベテランのような方でした。始めてすぐ有効を取られ、「うまい方だな、ナニクソ！」と自分もおもしろい技をかけたなら、これが見事1本となり、本当のまぐれ勝ちをしました。あとで、「あの人が、このグループの優勝候補で、国体に出ていた人だ」と知らされ、ぞーといったしました。そして、3回戦、またまた「次の相手は、富山の、世界選手権にでられた有名な選手の兄弟の方だとまた知らされ、「国体の次は、世界か、今度は、とてもじゃないが、だめだな」と観念いたしました。しかし、「どうせ負

けるのなら、派手にやつてやろう」と捨て身で精イツパイ挑みました。そしたら、またまた「奇蹟」勝つてしまいました。私は、この試合は、たぶん1回戦で終わり、終わつたらすぐそのまま愛車で日本海周りで釣りをしながら、埼玉の自宅のほうへ帰ることにしておりました。しかし、結果がでて、これを大転換し、進路を、180度かえて、また約80キロ離れた実家の宇部に逆もどりしました。もらつた金メダルをみんなに見せたかつたからです。前日、お別れの挨拶をした友達のところへまた行つたら、「おまえ、もう帰つたんじゃないのかいこのう、・・・試合にでるちゅうんじやつたら、いうちよつてくれりや見にいくんじやつたけどのう」といわれ、「いやあ、それがいやで黙つちよつたんじやあ・・・」とこたえました。とにかく嬉しくて、金メダルをみんなに見せ、仏様にも見せました。みんな驚いていましたが、一番驚いたのは、自分自身で、特に自分の郷里であつた大会だけに、嬉しさも倍増した本当によい思い出となつた小心者の初めてのマスターズでした。

みなさんありがとうございます。

団体戦3チーム出場

そして「パパかっこいい・・・」

田中 茂（東京都）



私は中野区柔道会でお世話になつており、2回中野区柔道会でチームを組み団体戦に出場させていただきました。私は66kg級でいただきました。私は66kg級で体がないので、大した戦力になりませんが、今大会は中野区で3チーム組みますので、BチームかCチームに名を連ねさせていたいただくことになりそうです。

どちらの柔道会もそうでしょうが、皆さん立派な指導者ですが、殊の外年代間のコミュニケーションをとることに苦労なさっているのではないのでしょうか。その一助になればと思います、会にマスターズの団体戦出場を提案しました。団体戦は、30・40・50・60・70歳代各1名づつ5人編成。千葉県勝浦の大会には、2チームで

出ましたが、残念ながら2チームとも1回戦敗退しました。一昨年の講道館での大会では、3チームで出場しB・Cチームは1回戦敗退しましたが、Aチームは準々決勝まで進み先が見えた気がします。

団体戦を戦つた高揚感で、柔道会の一体感・仲間意識も高まり、今年は大型選手をそろえ、上手くいけば優勝も狙えるのではないかと意気が上がっています。

その団体戦の中心選手で私と同年代の方が、勝浦の大会で2試合一本勝ちをしたのですが、応援に来ていた娘さんから、「パパ、かっこいい・・・」って言われて喜んでいました。いい指導者であることも大切ですが、柔道家としての喜びも忘れたくないですね。

記憶と記録に残る嬉野大会

竹澤 毅朗（愛知県）



私のマスターズ柔道大会の出場のきっかけは、地元の先生が毎回出場されていること、形の練習と一緒にしている先生方からも誘われたからでした。私は、第11回東京大会に引き続き、第12回嬉野大会の競技に出場させて頂きました。東京大会では、初出場の為、緊張しすぎて、楽しむ余裕もなく、形の演武をして帰つて来ただけでした。嬉野大会は、私にとって人生初の飛行機に乗る経験という別の意味で緊張することからスタートしましたが、一緒に出場される先生方と行動を共にさせて頂きましたので、心配は乗り物酔いをしないようにすることだけででした。私にとつて嬉野大会は、東京大会では出来なかつた、多くの柔道愛好家の先生方と交流する機会に恵まれました。競技で同じになった先生から試合中の演武を撮影したDVDを後日送って頂いたり、嬉野チームの皆様から温かいお言葉を頂いたり、嬉しく楽しい思い出が出来たことに感謝致します。また、私の所属する知多市柔道会から出場された先生及び一緒に行つた先生方も皆好成績を収めることが出来たので、私にとって記憶と記録に残る嬉野大会となりました。今後も生涯柔道の素晴らしさを実感出来るマ

スターズ柔道大会で、多くの先生方とお会い出来ることを楽しみに、日々稽古に励んでいきたいと思っています。

掛け替えない

マスターズ柔道大会

中井 司朗（奈良県）



天理大学女子柔道部の倉持亜佐美さんと

第12回日本マスターズ柔道大会、大盛況に終了し、嬉しく思います。私にとってマスターズ柔道大会は掛け替えないものになっております。大会を通して多くの参加者の皆様に多くのことを学んでくれました。私がマスターズ柔道大会を知ったのは、藤井省太先生（天理大学）から、マスターズ柔道大会のお話をお聞きし、参加されてはどうですか？と奨めて下さいましたが、私のように本格的な柔道修行をしてない者が参加して大丈夫かなという不安がありました。藤井省太先生

が参加し、成績が良ければ記録され昇段（現六段）の評価対象になると強く参加を奨めて下さいました。丁度その頃、大山先生（ダイコロ株）から、マスターズ柔道大会団体戦に大阪チームから出場しませんかというお話を頂き、参加したら多くの中高年の先生方が出場しておられるので驚きました。試合では大阪代表が団体戦で優勝し、当時私70歳で感激感動を味あうことができて、感謝ひとしをです。奨めて下さった先生に心より感謝しております。今後体の続く限り、素晴らしい大会に参加したいので充分体調管理に努め、生涯現役を目指し、好きな柔道を続けたい為、奈良県から大阪府八尾柔道教室に通いに2、3回稽古に通い多くの若い人に稽古して貰っています。昨年からは紀野修二（近大OB）初め大阪府八尾柔道教室から多くの方がマスターズ柔道大会に参加しておられます。宜しくお願い致します。マスターズ柔道大会で同年代の先生方にお会いすると「心の支え」「心の励み」になります。清家春夫会長、西久保博信副会長多くのマスターズ柔道関係の先生方に心より感謝いたしております。又会場で先生方にお会いしたいです。有難うございました。

マスターズ柔道について

中山 直秀（長崎県）



私とマスターズ柔道大会の出会いは、第6回の大分大会でした。その当時、私は東京の新宿にある、柔道整復師の養成学校で教員をしていました。そこでは、柔道の授業や柔道をやりたい学生への指導、そして学校の道場で左門町柔道場を開き、地域の子供達や一般の方々と柔道に取り組んでいました。指導していく中で柔道の指導者としての責任を感じていました。そこで、自分の体や精神の修業のため、競技者として大会に出場することを決意しました。本格的な階級別の試合には随分出場していなかった為、試合の為に行う基礎トレーニングやウエイトの管理など、仕事をしながら時間を見つけて行う為、大変勉強になりました。少しづつ乱取などの実践的な練習を行

う上でも、今の自分の身体の状態で行える範囲を自分の身体と相談・確認しケガに繋がらない様考えて行いました。改めて、競技を行う上では、強い精神力と基礎体力、そして柔道の理合いに基づく技の練習が重要であることを教えられました。マスターズ柔道大会の重要と感じたのは、参加される方々が、若い時より、柔軟性や筋力などが少々低下していても、正しい理合いに基づく技を磨く事でケガを少なくし、生涯柔道へ取り組める事を体現している場だと感じました。その様な方々との意見交換や情報を共有することは、私にとって大変な財産となっています。現在、私は長崎で整骨院を開業し近くの道場で指導を行っています。今後、子供達に柔道を指導していく中で、目先の勝利に促される事無く、生涯柔道を楽しんで貰える事を伝えられる様にしたいと考えています。

十回出場と功労賞受賞

奈良 澄（愛知県）

待ちに待った第12回日本マスターズ柔道嬉野大会、朝六時三



十五分名古屋発ひかり21号、十時十四分博多着、長崎本線に乗り換え武雄温泉着、バスに乗り換え嬉野、コンパス時刻表片手によりやく到着、若い人だとスマホで時刻を調べるが、スマホはまだ使いこなすまでにはまだまだ時間がかかる、使い慣れた時刻表は手放せない。第一回浜松、から連続九回出場、第十回講道館大会体調不良で欠席、第十一回講道館大会が十回目、体調悪かったが押して出場。私まだ八十歳、私より年上の先生方の元気なのは驚かされる。第十三回大会は東京講道館での開催とのこと、今から体調を整へ出場するべく、身体のケアに整形外科日参の日が続く、朝起きてどこも身体の痛くない日は少ない（八十年も使えばガタもくる、部品交換してくれるところがあれば、頭

から足先まで交換したい所だが）
そうはいかない。古い部品

ばかりだがやりながら最後まで
使い切ろう。まだまだ使えそうで
す、整形外科に日参しながらで
も、生涯学習柔道は貫きとうし
たい。マイナス思考にならず、何
事もプラス思考で生活する積り
です。先輩先生方が毎日どの様
に過ごしておられるかお伺いた
いと思つています。来年の講道館
での試合には何としてでも出場
するべく、今からケアに努めます。
投稿の機会を与えて頂き感謝し
ております、ありがとうございます。

追伸 神奈川県森本先生に
いつも仲良くしていただけており
ますが、無断で写真を投稿させ
て頂きました。お手紙でお許し
を得ておきます。

マスターズ柔道嬉野大会

に参加して

内田 みゆき（愛知県）

私は今回、愛知県から2泊3日
で佐賀県嬉野市で行われたマス
ターズ柔道大会に、日頃地元で
指導して頂いている先生と、縁あ

つて一緒に練習している仲間と
参加しました。私は九州の旅は
初めてでした。大会で、形競技、
個人戦、団体戦に参加する事と、
佐賀県嬉野市の観光が出来るこ
とがとても楽しみでした。嬉野温
泉、湯豆腐、嬉野茶など、観光、
食事もしめとても良かったで
す。いろんな県を訪れることが出
来るマスターズ柔道大会の楽し
みの一つです。私にとってマスターズ
柔道大会は、日頃の練習の成果
を試す大事な場所です。又、大
人になつてなかなか味わうこと
できない緊張感を味わうことが
出来る貴重な場所です。私は千
葉大会から参加していますが、
毎年参加していると少しづつ知
っている顔が増えて、柔道を通じ
て色々な地域の方々と言葉を交
わして交流できる温かい場所です。
大会に参加したからこそ味わえ
る嬉しい気持ちも悔しい気持ち
も、又頑張つて練習しようという
自分への刺激になります。これか
ら怪我に気をつけて、体力維



持に努め、柔道を楽しみながら、
地元でコツコツと練習したことを
マスターズ柔道大会で少しでも試
すことが出来ると嬉しいです。

想い出の地・九州での大会

美農岡 清三郎（兵庫県）



私は70年前兵隊で姫路へ入隊
し、汽車に乗り3日間半かかり
着いたのが九州でした。そこでこ
の度、日本マスターズ柔道大会が
九州で開催されることになり、
今年90歳になりましたが、想い
出の地で、柔道の発展と長寿の
進展と生涯スポーツの必要性、
現役柔道を楽しみつつ、希望と
活力を得る目的をもって試合に
臨みました。そして大先輩の岡
田先生と試合をさせて頂き一生
の想い出となりました。夜は同部

屋にて森本先生と二晩とも遅く
まで世間話に花がさきました。
懇親会で多くの先生方とお目に
かかれたことも嬉しく思いました。
清家会長夫人の音頭で盛り上が
った「柔道盆踊り」を楽しく見学
しました。大会運営の役員先生
方に厚く御礼申し上げます。

私と日本マスターズ柔道

桧山 尚浩（福岡県）



私は日本マスターズ柔道大会に第
三回岡山、第四回兵庫、第五回
秋田、第六回大分、第七回新潟、
第八回千葉大会に六年連続で出
場し、九回山口、十回東京大会は
怪我で手術をし、欠場して、十一
回東京大会で復活して今回の佐
賀大会で通算八回目の出場とな
りました。戦績は100kg超級で8
回、無差別級で5回、合計13回

運よく優勝することができました。
柔道を永く続けて大会に出場す
るに当たっては家族の理解や協力
そして何よりも安定した収入が無
いと大会には出場し続ける事はで
きません。常に感謝の気持ちを忘
れずに精進していきます。これか
らは対戦相手との戦いもあります
が、自分自身の体力、気力との戦
いでもあります。練習を怠つてもい
けませんし、あまり頑張りすぎて
もいけません。身体に支障をきた
すと仕事にも差し支えます。効
率の良い稽古の仕方を日々考え
ながらやっています。今後の目標
としては東北柔道専門学校の子
生時代に宮城県代表選手として
国体に2年連続出場した時の監
督で私の尊敬する元東北学院大
学監督の高橋富士男先生のように
に世界マスターズ（現、ベテランズ）
柔道大会に出場して優勝するこ
とです。最後になりましたが大会
を企画、運営している協会の方々
には深く感謝すると同時に、今後
も本大会を継続して開催して頂
けますよう心からお願い申し上げ
ます。

私が柔道続ける理由

片山 幸昌 (兵庫県)



5歳から兄の影響で柔道を始め、特に勉強ができ、スポーツが万能という訳でもなく、只ひたすら柔道を続けて40年という歳月が経ちました。怪我等で挫折し、体力的、精神的にも無理だろうと自分の中で勝手に限界を造って置から去ることを考えた時もありました。お陰で二度の手術を繰り返し、関節は人口靱帯で何とか繋がっているし、リハビリも大きな筋肉を身に纏うことができました。現在の医療は素晴らしい。(笑)柔道は、対戦相手との戦いもありますが、一番大事なのは、自分自身の体力や精

神力のとの戦いであると思います。己に勝つて初めて相手に勝てるのが柔道であり、負けた時の悔しさ、恥をかく惨めさもあります。が、勝った時の喜びは、昔も今も同じで最高の喜びとなります。健全な身体を維持することができ柔道であり、そこから人の痛みや苦しみ悲しみも解かり、思いやりの精神が生まれるのだと思います。勝負は勿論大事ですが、柔道を続けることでガムシヤラにやっていた若い時代には感じるものが無かったことも、この歳になって初めて気付く深い部分が沢山あります。柔道を継続することで素晴らしい仲間と出会い、自分自身の成長を通して、人としての人格レベルの向上を目指していくこと、そして、これまで私を支えてくれた両親を始めとする総ての方々に、今もなお元気に柔道をやっている姿を見せることが、今の私にできる唯一の恩返しであり、私に課せられた責任でもあります。今後も柔道を通じて、年齢とともに老いていく身体精神の更なる修練手段の開拓に挑みながら、挑戦心を持って、精進を続ける覚悟であります。縁あつて柔道と巡り合い、これまで支えて頂いた皆様方に心より感謝し、紙面をお借りし、御礼申し上げます。

地方大会最高

卜部 秀幸 (愛知県)



佐賀県嬉野での大会を終え私は、故郷での大会決定から気持ちが高揚し楽しみでした。地元嬉野チーム(団体戦)でエントリーして戴き活躍の場を得られたことは、嬉しく感謝しています。2014年は、2月に肘の手術、7月には膝の手術と2014年大会を断念し今大会に挑みました。しかし1年間のブランクは簡単に戻りません。大会に出場するには日頃の健康管理と年齢に合った練習・トレーニングの重要性を感じました。今まで選手で活躍されていた方や我子と一緒に30代40代から始められた方々の活躍の場があることも柔道人口の底辺拡大に繋がると嬉しく思います。私は、日本マスターズ柔道大会を

世界マスターズ大会の日本代表選手選考を兼ねた大会になると良いのではないかと思います。(自由参加も含め)

私は、今大会の個人戦では、1回戦で手が足に触れ反則負けでしたが、今大会で、価値ある経験を得る事ができ今後の柔道人生に生かしたいと思っています。

私が今大会で嬉しく感じた事は恩師や今まで指導して頂いた先生方の応援と教え子が数人参加してくれて優勝や3位入賞と一緒に参加できたことは、良い思い出になりました。また、今大会は、全柔連・マスターズ協会・嬉野市長はじめ地域の柔道愛好家の方々のご協力のお陰と感謝しております。最後になりますが、マスターズ柔道大会が地方開催も取り入れられ益々盛んになる事を願います。

もし柔道がなかったら

マスターズ柔道大会がなかったら

養父 洋介 (兵庫県)

今年の12回佐賀県マスターズ柔道大会も無事終了しました。私はマスターズ柔道大会は、第3



回岡山大会から参加しています。第9回山口大会で1日目体重別 M66kgで出場し、優勝できたのですが、私はこれまで個人戦のみの出場団体戦も形も無差別戦も出ていませんでしたが、第8回千葉大会で、大阪から毎年マスターズ柔道大会に出ておられるある先生が、あなたは無差別級には出ないのか年のいっとなる私でも出ているのと言われ、次の山口大会に出ますと誓い、翌年の山口大会2日目に初めて無差別級に出場しましたが、1回戦でゴールデンスコアの末、負けました。終わってみれば腹部が激痛で、同行していたいづもお世話になっている館長・恩師に市民病院に運んで頂き、小腸が破れているとわかり、緊急手術となり、我が妻も兵庫県姫路市から新幹線で駆けつけ手術の同意書にサインし、手術は無事終わりました。回復も早く2週間の入院で姫路に帰れました。11月11日の試合のケガから順調に回復し、12月の忘年会に心

配かけたみんなの前で普通に食事をして、ビールを飲んだらみんなびつくりしていました。そして翌年2月頃から柔道の稽古を再開しましたが6月に突然激痛に襲われ、病院に行き検査の結果、腸が癒着し腸閉塞と診断され夜間に搬送の入院で1ヶ月間点滴だけで飲まず食わずで、体重は67〜8 kgから53 kgまで落ち再手術となりました。1ヶ月半の入院で残念ながら第10回東京大会・その他1年間は試合はお休みしました。入院中はたくさんの人にお見舞いに来ていただき励まされました。特に私の所属している愛孝館磯田先生ご夫妻は何度も来て頂き励ましの言葉を頂き、山本昭先生には勝つ柔道の本とDVDを頂き何回も読みました。大矢八平先生に来て頂いた時は、早く柔道に復帰しなければと感じました。病院では良い先生に巡り合いですべてに感謝しています。そして、退院し傷も癒えて3ヶ月後柔道の稽古に復帰し、平成26年4月に西日本柔道大会(京都)・5月に柔道祭(神戸)そして11回マスターズ東京大会に出場しました。が、2回戦で腹部に何回ともなく受けた強烈な巴投げの足で激痛に耐えきれず1本負けをしました。山口県マスターズの時に、受けた

巴投げの腹部に受けた再来かとの想いでした。これまでも第6回大分県マスターズ柔道大会においても腕に関節を決められ骨折・その翌年7回新潟県マスターズ柔道大会で前回の相手に同じ関節技にかかり、2度目の骨折、一晩中痛みに耐え翌日朝、兵庫県から出ている団体戦の応援もできず新幹線で姫路に帰りました。他にもたくさんケガがあります。その後治療に専念すると共に、技を変え・トレーニング方法を変え 今年の佐賀県嬉野マスターズ柔道大会に出場し、優勝する事が出来ました。私なりに復活だと喜びました。もし柔道がなかったら、マスターズ柔道大会がなかったら試合で腸が破れて手術し、骨折やまた苦しい稽古やトレーニングもしなくてよかっただろう。私は耳はつぶれていませんがそれもないだろう。しかし柔道が嘉納治五郎先生によって作られ大勢の人たちが継承し、今日に至っています。柔道によって、さらにマスターズ柔道大会でより多くの人と出会い再会し、試合が終わればたまたまの再会、外国の人たちにも出会いがあり、我が人生において柔道は必要不可欠です。私はマスターズ柔道大会を長く続けて行きたいと思います。最後にいつも私を引っ張っ

て下さる諸先輩の皆さん、愛孝館の皆さん、私を常に心配して支え、柔道で出ていく事に理解をしてくれている妻に家族に感謝します。

年を重ねて

齋院 志津子(神奈川県)



あぜ道に咲く、彼岸花の赤さに目を見張る嬉野市。広がる空には赤とんぼの群れ…。この大会の出場は、秋の行事と重なることもあり、迷いながら締めきり日ぎりぎりのエントリーとなった。夏を迎え、刻々と試合日は迫る。何故かテンションの上がらない日が続いた。唯一のトレーニングは、六歳になる孫との遊びだった。近くにある松林の公園の中を走る。気を抜くと「本気で走らないと飛べない」と檄が飛ぶ。飛行機ごっこで的一幕。ボール投げ、プールだ！海だ！この夏の日焼けは、

ことのほか見事だった。柔道の稽古は、週3回通っているが、ムキになることもなく、怪我をしそうもない上手な男子を選び、淡々と続けた。先生から「もつと乱取りを」と言われても、すましていた。年を重ねたアスリートに無理は禁物。自分でもこの変わり様に驚く。いよいよ試合場に、私はワクワクしながら、この畳を踏める幸せを感じた。勝とうという力もなく、相手と向き合う。力を使わずに、身体を捌き投げ、抑え込みに入った。勝利も静かにかみしめる。翌日は、亡き母の見たがついていた、平戸の夕日を生月島で待つ。心地よい風に吹かれ、放牧の牛たちと並び、西の海に沈む夕日を眺めた。この夕日と共に、想い出に残る大会となった。大会を支えた下さった皆様「有難うございました」

遠かった！さと良かった嬉野

西久保 博信(神奈川県)

9月18日(金)羽田発11時30分発、ANA 251便福岡行き、博信・妻篤子・羽田で合流した長男仁。篤子、仁に向かつて「お前太ったねー、体重大丈夫？」

「仁、3 kgオーバー」「博信、俺は酒を飲みながら減量したのに、お前は努力が足りん、一つ上の81 kg級で出場しろ」「仁、5日前の稽古で左肩を強打して稽古できなかったんだ」「博信、自己コントロールの問題だ」かくして親子とはいえ、個性派3人の道中は至る所で意見の食い違いが生じ、「野次さん、喜多さん」の二人三脚にはならなかった。博多から長崎本線の特急で1時間、武生へ、全日本柔道連盟の中里事務局長一行と一緒にバスで更に1時間漸く嬉野市に到着、旅装を解き広い旅館内をウロウロ、3人3様の温泉感「さすが日本三大美肌湯」で一致。翌19日(土)午前、形競技の部、栃木県、内藤純八段と組んだ講道館護身術、練習量の割には健闘したが入賞ならず(4位)。午後の団体戦、監督兼大将の「セキリティ・パワーズ」一回戦対「明石衣川柔道同好会(兵庫県)」に4-0、二回戦、昨年準優勝の「財」昭徳館」に2-1、準々決勝、地元嬉野チーム2-2



の内容負け、ベストエイトで終了。
夜の懇親会では、「良寛さんの短歌（世の中に）と俳句（我と来て）」の「詩吟」を吟じさせて貰う。佐賀県の銘酒をたつぷり堪能。9月20日（日）個人戦、M9-73kg以下級出場、アツサリ一回戦敗退。結局個人戦を欠場した仁と3人、早々と会場を後に福岡へ、その晩博多で食べた「イカの活き作り」「名物白もつ鍋」は最高に旨かった。地方大会開催頑張ろう。



イラスト：森本由紀子さん

2015年日本ベテランズ国際 柔道大会

（第12回日本マスターズ 柔道大会）

個人戦結果

（形競技の部）

1位	取	Y・L・N	ユ	香港
2位	取	K・F・K	ワック	香港
3位	取	入江浩正	大阪	
受	吉田勲生	奈良		
1位	取	芦田和典	大阪	
2位	取	伊志嶺朝広	沖縄	
3位	取	高江洲綾	沖縄	
受	K・F・K	ワック	香港	
受	W・F・チヨイ	香港		
1位	取	中村友久	宮崎	
2位	取	平野多俊	三重	
3位	取	金藤宏行	香川	
受	溝渕 充	香川		

柔の形

1位	取	岩田美喜	愛知
2位	取	松本紀子	愛知
3位	取	石川正栄	愛知
受	Y・スズキ	香港	

講道館護身術

1位	取	崎原永克	沖縄
2位	取	植木良夫	栃木
3位	取	加古若子	愛知
受	竹澤毅朗	愛知	

五の形

1位	取	大木恒毅	東京都
2位	取	阿部雅人	東京都
3位	取	毛利 修	埼玉
受	清家春夫	千葉	
3位	取	加古若子	愛知
受	竹澤毅朗	愛知	

古式の形

1位	取	清家春夫	千葉
2位	取	鈴木常夫	神奈川
3位	取	三橋英夫	神奈川
受	見原道生	宮崎	
受	木下勝巳	宮崎	

【年齢別体重別個人戦の部】

M1	60 kg級	
1位	岡口勝之	東京都
2位	井上隆司	佐賀
3位	大山隆弘	香川
3位	工藤勇太	長崎

M1	66 kg級
1位	川崎甲子郎 長崎
2位	田中一朗 福岡
3位	大田隆一 長崎
3位	ヨシマサオギシマ 香港

M1	73 kg級		
1位	寺居大志	京都	
2位	古河 操	佐賀	
3位	中村 航	静岡	
3位	佐原聡一郎	長崎	

M1	81 kg級			
1位	高島英貴	北海道		
2位	望月竜太	福岡		
3位	飯倉 猛	大分		
3位	近藤史章	大分		

M1	90 kg級	
1位	長部孝太	東京都
2位	堀本祐介	福岡

M1	100 kg級		
1位	岡田建彦	滋賀	
2位	矢根和紀	兵庫	
3位	香田吉彦	佐賀	
3位	藤井 崇	愛知	

3位	2位	1位	M1
鈴木武男	眞嶋正勝	里山裕晃	100 kg超級
千葉	佐賀	愛知	

3位	3位	2位	1位	M2
保坂	田中	猪又	川野英二	60 kg級
稔	太	功		
福岡	佐賀	静岡	愛媛	

M2	66	kg級	
1位	中山直秀	長崎	
2位	元井竜一	東京都	
3位	小長谷泰輔	福岡	
3位	林 峰裕	愛知	

M2	73 kg級	
1位	菊 貴信	福岡
2位	コラッセ ケビン	カナダ
3位	野崎健吾	石川
3位	ユウジロウ ヤノ	香港

M2	81 kg級	
1位	山口浩二	佐賀
2位	鈴木 淳	東京都
3位	山本 右	愛知

M2	90 kg級			
1位	兼武 廉	佐賀		
2位	岩田 幹人	島根		
3位	伊東知樹	愛知		
3位	野中 兆	佐賀		

M2	100 kg級	1位	古味直憲	高知
2位	小松広典	滋賀		
3位	齋藤敏行	宮城		
3位	山本幸男	香川		
M2	100 kg超級	1位	坂本 究	長崎
2位	壽浦圭吾	千葉		
3位	岩田和治	山口		
3位	松原勝利	高知		
M3	60 kg級	1位	中山義秀	長崎
2位	佐藤政美	宮城		
3位	今井達将	滋賀		
3位	松田与二郎	静岡		
M3	66 kg級	1位	西尾真治	埼玉
2位	今村 剛	長崎		
3位	中山幸久	兵庫		
3位	田中隆雄	大阪		
M3	73 kg級	1位	鳥居智男	大阪
2位	原口正志	長崎		
3位	尾原弘恭	大阪		
3位	中島和彦	大阪		
M3	81 kg級	1位	大島和也	佐賀
2位	田邊竜志	福岡		
3位	佐々木仁史	埼玉		
3位	間 章	高知		
M3	90 kg級	1位	桂 剛	大阪
2位	信國文孝	福岡		
3位	デジャンコリク			
	スウェーデン			
3位	伊志嶺朝広	沖縄		
M3	100 kg級	1位	板井慎吾	大分
2位	村上勝明	東京都		
3位	井上省司	千葉		
M3	100 kg超級	1位	谷川 礼	埼玉
2位	末吉貴彦	鹿児島		
3位	中谷善和	滋賀		
3位	橋爪 清	佐賀		
M4	60 kg級	1位	柿原清剛	佐賀
2位	船田直仁	大阪		
3位	今嶋禄郎	大阪		
M4	66 kg級	1位	岡村忠彦	東京都
2位	坂本栄樹	大阪		
3位	明楽賢一	神奈川		
3位	中内康幸	高知		
M4	73 kg級	1位	土屋 靖	和歌山
2位	堂本和宏	長崎		
3位	酒井博昭	北海道		
3位	グステンデアマルル			
	スウェーデン			
M4	81 kg級	1位	緒方正憲	福岡
2位	芦田和典	大阪		
3位	桑原喜一郎	埼玉		
3位	松崎守利	福岡		
M4	90 kg級	1位	横山雅一	福岡
2位	小坂重人	秋田		
3位	許斐記美人	福岡		
3位	石井一宏	栃木		
M4	100 kg級	1位	片山幸昌	兵庫
2位	馬場重寿	長崎		
3位	津田 剛	兵庫		
3位	梶原 純	愛媛		
M4	100 kg超級	1位	桧山尚浩	福岡
2位	野田隆治	大分		
3位	斉野謙二	愛知		
M5	60 kg級	1位	小玉 勉	兵庫
2位	森田賢一	静岡		
3位	品川雄功	京都		
3位	鎌田 力	兵庫		
M5	66 kg級			
1位	谷崎英規	島根		
2位	喜多康之	兵庫		
3位	平野健太郎	千葉		
3位	保科匠吾	富山		
M5	73 kg級	1位	上田一美	愛知
2位	神山靖久	大阪		
3位	崎原永克	沖縄		
3位	油屋 康	東京都		
M5	81 kg級	1位	石田 聡	福岡
2位	奈須泰造	福岡		
3位	小西康夫	富山		
3位	亘 宏之	東京都		
M5	90 kg級	1位	柏田 訓	愛媛
2位	赤尾信行	山口		
3位	高橋洋一	埼玉		
3位	阿部雅人	東京都		
M5	100 kg級	1位	高橋俊哉	青森
2位	片渕充紀	茨城		
3位	川野昭彦	千葉		
3位	養性 剛	兵庫		
M5	100 kg超級	M 6と統合		
1位	堺 収司	福岡		
2位	辻 浩一	佐賀		
3位	窪田智之	愛知		
M6	60 kg級	1位	大屋智次	福岡
2位	甲斐浩二	宮崎		
3位	村上富儀	高知		
M6	66 kg級	1位	養父洋介	兵庫
2位	小久保隆	愛知		
3位	村上和男	宮崎		
3位	大内基樹	北海道		
M6	73 kg級	1位	山口光男	愛知
2位	重森敏行	愛媛		
3位	弓削清弘	東京都		
3位	松井利夫	島根		
M6	81 kg級	1位	長谷川正仁	神奈川
2位	山崎 悟	長崎		
3位	前澤一吉	福岡		
3位	岡本 有	大阪		
M6	90 kg級	1位	安江幸師	静岡
2位	中山章司	香川		
M6	100 kg級	1位	対馬勝美	青森
2位	アラン グリーン			
	ニュージーランド			
3位	宮田安志	福島		
3位	児島恭司	岐阜		

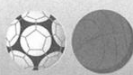
M6 100 kg 超級 M5と統合												3 位 稲田 豊 山口																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
M7 60 kg 級	1 位 八坂楠夫 千葉	2 位 北尾 浩 兵庫	3 位 西谷博一 東京都	M8 66 kg 級	1 位 井上数夫 神奈川	2 位 濱口國光 愛知	3 位 見原道生 宮崎	3 位 佐々木安廣 岩手	M8 73 kg 級	1 位 羽生利彦 茨城	2 位 久宮登三夫 栃木	3 位 田島恒男 熊本	3 位 西川 求 神奈川	M8 81 kg 級	1 位 山田次光 大分	2 位 諸山和美 愛知	3 位 松山幸二 神奈川	3 位 吉成隆杜 東京都	M8 90 kg 級 M9と統合	1 位 吉永豊貴 大阪	2 位 堤 貞介 北海道	3 位 向 博文 埼玉	3 位 三野正二郎 香川	M8 100 kg 級	1 位 安立俊二 兵庫	2 位 久保雅昭 東京都	M8 100 kg 超級	1 位 上野清吾 熊本	2 位 坂田行雄 長崎																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
M9 60 kg 級	1 位 加藤忠勝 東京都	2 位 清水 周 東京都	3 位 清田洋一 大分	3 位 橋 春夫 大阪	M9 66 kg 級	1 位 田房豊彦 奈良	2 位 井田幹夫 神奈川	3 位 山田雅弘 宮崎	3 位 飯塚正春 栃木	M9 73 kg 級	1 位 鶴内洋輝 広島	2 位 二村雄次 愛知	3 位 五十嵐徳英 千葉	3 位 小川郷太郎 東京都	M9 81 kg 級	1 位 三橋英夫 神奈川	2 位 池田正男 兵庫	3 位 役田英穂 埼玉	3 位 清家春夫 千葉	M9 90 kg 級 M8と統合												M10 60 kg 級	1 位 相田盛良 長崎	2 位 勝呂 孝 埼玉	3 位 杉原 尚 茨城	3 位 永島健次郎 千葉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
M10 66 kg 級	1 位 大窪龍史郎 埼玉	2 位 石川厚二 東京都	3 位 石井洋秀 神奈川	3 位 福盛田立明 神奈川	M10 81 kg 級 M11と統合	1 位 内藤 純 栃木	2 位 飯屋 悟 兵庫	3 位 森本唯行 神奈川	M10 100 kg 級 M11と統合	1 位 リック リトルウッド	ニュージーランド											M11 60 kg 級 M12と統合	1 位 岡田庫二郎 兵庫	2 位 美濃岡清三郎 兵庫	M11 66 kg 級	1 位 高橋勲十 岩手	2 位 若月良夫 新潟	M11 81 kg 級 M10と統合												M12 60 kg 級 M11と統合												M12 100 kg 級	1 位 パット トナー																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		

2015年日本ベテランズ国際柔道大会(第12回日本マスターズ 柔道大会) 団体戦

2015 Japan Veterans International Judo Championships / Teams

3位	近紀会 KINKI-KAI	混成 Mixed	1	男子団体戦 MEN										13	(財)昭徳館 SHOTOKU KAN	栃木県 Tochigi	3位	
	エネルギーチーム ENERGY TEAM	東京都 Tokyo	2	4-1										1-2	14	明石衣川柔道同好会 KINUGAWA JUDO		兵庫県 Hyogo
	元気ひむか GENKI HIMUKA	混成 Mixed	3	2-3										0-4	15	セキュリティス・パワース SECURITY'S POWERS		東京都 Tokyo
	柔錬会 A JUREN-KAI A	兵庫県 Hyogo	4	4-0										2-2内	16	札幌柔道連盟 SAPPORO JUDO FED		北海道 Hokkaido
	大木塾 OKIJUKU	東京都 Tokyo	5	2-2内										2-3	17	嬉野 URESHINO		佐賀県 Saga
	長崎三菱クラブ NGS MITSUBISHI CLUB	長崎県 Nagasaki	6	2-3										3-2	18	NZ JUDO KONG NZ JUDO KONG		ニュージーランド NZL
	東京武道館柔友会 TOKYO BUDOKAN	東京都 Tokyo	7	1-4	3-0	2-2代								19	同志社 WRJC DOSHISHA	神奈川県 Kanagawa		
	佐賀商業OB SAGASHOGYO OB	佐賀県 Saga	8	1-4										4-1	20	柔錬会 B JUREN-KAI B		兵庫県 Hyogo
	チームトライ TEAM TRY	混成 Mixed	9	4-1										2-2内	21	丸の内柔道倶楽部 MARUNOUCHI		東京都 Tokyo
	AUS & NZL AUS & NZL	オーストラリア AUS & NZL	10	4-1										2-3	22	明道館 MEIDO KAN		福岡県 Fukuoka
	山嵐 YAMAARASHI	神奈川県 Kanagawa	11	0-5										2-3	23	東京柔道 BAKA TOKYO JUDO BAKA		東京都 Tokyo
	八尾柔道協会 YAO JUDO ASSO	大阪府 Osaka	12	4-0										3-1	24	東京ガス・大阪ガス TOKYO・OSAKA GAS		混成 Mixed
													2-2内	25	坂出市柔道協会 SAKAIDE JUDO ASSO	香川県 Kagawa		

2位	寿栄館 JUEI-KAN	混成 Mixed	1	女子団体戦 WOMEN										3	鹿児島 Kagoshima	鹿児島 Kagoshima	優勝
	まわたの会 B MAWATANO-KAI B	愛知県 Aichi	2	2-1										1-2	4	まわたの会 A MAWATANO-KAI A	
													1代-1				



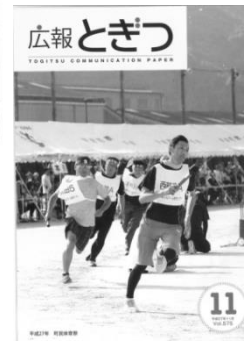
みんなのスポーツ

成果を出し続ける努力 柔道家 稲田盛良さん

9月19・20日の2日間、佐賀県嬉野市で行われた「2015年日本ベテランズ国際柔道大会（第12回日本マスターズ柔道大会）」に出場した稲田盛良さん（左底郷）が、M10-60kg級（75～79歳・60kg以下）の個人戦に出場し、金メダルを獲得しました。

昨年は銀メダルで悔しい思いをされましたが、今年は有終の美を飾ることができました。

前回の大会で、稲田さんは初心にかえり、大師匠の著に書かれている「3倍努力せよ」を心掛け、毎日3倍の努力を続けた結果、今回の成果につながりました。優勝おめでとうございます。



稲田盛良さん（長崎県）の活躍が、長崎県時津町の町誌「広報とぎつ」に掲載されました。

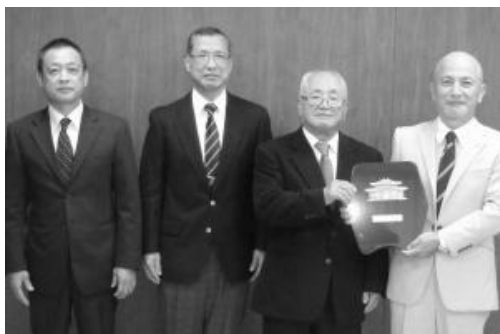
【トピックス】

足利市柔道連盟（会長：内藤純さん）が、平成27年度生涯スポーツ優良団体の表彰を受けました。

生涯スポーツ優良団体表彰は、文部科学省が、地域または職場におけるスポーツの健全な普及及び発展に貢献し、地域におけるスポーツの振興に顕著な成果をあげたスポーツ関係者及びスポーツ団体を、「生涯スポーツ功労者」及び「生涯スポーツ優良団体」として、各都道府県教育委員会、公益財団法人日本体育協会及び公益財団法人日本レクリエーション協会の選考を経て表彰しているものです。

平成27年度の表彰式は、昨年10月9日（金曜日）東京都の中央合同庁舎第7号館3階講堂で行われました。

表彰の様子は、地元紙両毛新聞や、ウィークリー両毛などで紹介されました。



左から3番目 内藤純副会長

ウィークリー両毛 2015年（平成27年）11月25日 水曜日

足利から五輪選手を



柔道連盟が表彰訪問
足利市から五輪選手を表彰する。左から、市議会議員、市議員、市議員、市議員、市議員。

市長スポーツ賞に飯田氏
優良団体は足利柔道連盟
市長スポーツ賞に飯田氏
優良団体は足利柔道連盟

日刊
両毛新聞
2016年成人式
中国語
中国語

◆編集後記◆

2015年は国際ベテランズ柔道大会と日本ベテランズ国際柔道大会（第12回日本マスターズ柔道大会）の日程が重複したため、

- ①「第12回嬉野大会について」
- ②「マスターズ柔道について」

なり」と

2. 400～600字、原稿用紙1枚半程度（基準：顔写真を添えて）この要旨で全国120人の方に「会報原稿執筆のお願い」を送付しました。しかし、途中で編集方針を変えました、年に一度の会報、全国の会員の声を優先しよう。

お陰で2015年の会報24ページ、2016年の会報は36ページとなっていました。400～600字の字数を守って頂いた方にはこの場をお借りして深くお詫び申し上げます。

全国から寄せられた原稿の中で印象に残った方の内容を取り挙げてみます。大阪の芦田和典会員、香港で形指導の経験あり、その時のご縁で嬉野大会で5人全員が入賞を果たした香港勢、更に「形は身体が動かせる限り現役選手として活躍が可能。昨年より今年今年より来年と、その大会での入賞が叶わなければ点数で努力の成果が確認できる競技である」。大分県の上島彬会員、「この歳（91歳）！金より健康が大事」「頑張らないこと」「マスターズ陸上をやっている方だけに「強いものは美しい（織田幹雄）」「オリンピックの覇者に天才なし（村社講平）」締めくくりに「百歳を目標に、いい加減な人生を楽しく」来年の講道館、92歳の雄姿を期待します。千葉県の上木保夫会員（弔辞 シゲ（茂）がいたから強くなれた」県立安房高校の同窓生中村茂晴との抜きつ抜かれつの「切磋琢磨」、二人を知っている人、知らない人にも共感を呼ぶ、柔道に明け暮れた青春汗と涙のほろ苦い男の友情。「茂のバカヤロー、そして有難う」この気持ち本当に解かります。愛知県の大宮民子会員「四婆の会」2005年第一回 日本マスターズ柔道静岡大会から参加している女子柔道家。原稿を受け取ってすぐ「四婆」が写っている写真を送って下さいとお願いしたところ苦勞の末「五婆（失礼写真）」を探してくれました。添え書きに「四婆といえども五婆での活動が六婆となり七婆となり、予備軍含めマスターズ柔道に参加してくれています」「マスターズ柔道会の会員は素晴らしい」

西久保 博信